

某宛
又ハ
明治何年何月何日第何號
現金引出切符金何程何之誰渡

右ハ明治何年何月何日仕拂停止及通知置候處令該仕拂命令(仕拂請求書、通知書、現金引出切符)取消候ニ付、右ニ係ル案内仕拂命令(案内仕拂請求書、案内引出切符、仕拂命令、送金ノ表書)返付相成度、又ハ右ニ對スル集合仕拂命令ノ金額何程ニ更正シ金額氏名表中第何號ヲ取消ス、此段通知候也

又ハ 仕拂命令官官氏名宛
出納官吏官氏名宛

(第七號書式ノ乙) (用紙美濃ニツ切)

取消通知書

某年度何廳所管第何號
仕拂命令(仕拂請求書)金何程何之誰渡
又ハ
仕拂命令(仕拂請求書)又ハ「集合仕拂命令、集合仕拂請求書、金額氏名表」第何號ニ係ル第何號通知書金何程何某宛
又ハ

明治何年何月何日第何號
現金引出切符金何程何之誰渡

右ニ對シ仕拂ヘキ金額ハ明治二十六年勅令第二百六十一號第六條ニ據リ供託セリ依テ該ニ交付セシ前記仕拂命令(仕拂請求書、通知書、現金引出切符)ヲ取消ス、此段通知候也

又ハ 仕拂命令官官氏名宛
出納官吏官氏名宛

年 月 日 何 某 宛

第七章 定額戻入

○會計法第七章 明治二十二年二月十一日 (本文ハ略ス)
法律第四號

○會計規則第六章第三款定額戻入 明治二十二年四月三十日 (本文ハ略ス)
勅令第六〇號

○前金渡概算渡ノ返納金ヲ定額ニ戻入スル取扱規程 明治二十二年十二月二十八日
(明治二十六年十一月十三日大藏省令第二十六號ニテ本行ノ通改正)

會計法第二十三條但書ニ依リ前金渡概算渡ノ返納金ヲ定額ニ戻入スルノ取扱規程ヲ定ム

前金渡概算渡ノ返納金ヲ定額ニ戻入スル取扱規程

第一條 前金渡概算渡返納金ニシテ經費ノ定額ニ戻入ヲ要スルモノアルトキハ仕拂命令官ヨリ返納人ニ對シ返納告知書ヲ發シ同時ニ通知書ヲ金庫ニ送付スヘシ

第二條 返納人ハ返納告知書ニ現金ヲ添ヘ其返納告知書ニ指定シタル金庫ニ之ヲ拂込ムヘシ

第三條 金庫ハ現金ヲ領收シタルトキハ其領收證書ヲ返納人ニ交付シ其通知書ハ直チニ當該仕拂命令官ニ送付スヘシ

第四條 前金渡概算渡ノ返納金ニシテ經費ノ定額ニ戻入ヲ要セサルモノハ通常歳入金取扱手續ニ依リ返納人ヲシテ金庫又ハ收入官吏ニ納入セシムヘシ

第五條 本規程ニ依リ發スル返納告知書ハ左ノ書式ニ依リ調製スヘシ

備考
領收證書金庫通知書用紙ニハ返納ノ金額番號定額戻入ヲ要スヘキ年度科目返納告知書發行廳ニ於テ記入スルモノトス

川紙適宜縦四寸五分ノモノニ枚横二寸五分ノモノ一枚接綴

返納告知書

第「何」號	「某」年度	「所管廳」	返納人「何」某
雜部 一金「何程」			
右「何」年「何」月「何」日限り「何地金庫」へ返納スヘシ 明治「何」年「何」月「何」日 仕拂命令官「官氏名」			

金庫 割印

第「何」號 「某」年度 「所管廳」 返納人「何」某

仕拂命令官 檢印
一金「何程」
金庫取扱主任ノ印

右領收候也
明治「何」年「何」月「何」日
「何地金庫」

金庫 割印

仕拂命令官 檢印

證書

第「何」號	「某」年度	「所管廳」	返納人「何」某
「經常(臨時)」 「何々(款)」 「何々(項)」 「何々(目)」 定額戻入ヲ要ス			
一金「何程」			
明治「何」年「何」月「何」日「何地金庫」へ返納			

(長崎郵便電信局)照會 明治二十三年七月二十一日

(第一)内國旅費ノ如キ概算渡ニ對シ精算シタル後下検査若クハ會計検査院ノ批准ニ據リ過渡ヲ發見シタル場合ノ返納金ハ既ニ概算ノ性質ヲ離レタルモノ、如クナレハ會計法第二十三條但書ニ據リ定額戻入スルコトヲ得サル乎或ハ一旦精算ヲ爲シタルト雖モ概算渡ニ起因シタル費途ナレハ該條但書ニ據ルヲ得ヘキ乎(第二)概算渡ノ費途ニシテ定額戻入スルコトヲ得ヘキ返納金ハ一事件毎(金庫へ返納セ)定額戻入要求書ヲ進達スル儀ナルヤ或ハ一ヶ月若クハ數ヶ月分取纏メ要求スルモノ不苦哉(第三)何ノ費途ノ不問過誤拂ヲ發見シ之方相當處分ヲ爲シタル場合其豫算經費ハ將來支辨ニ支障ナキト否トニ不拘總テ其處分シタル事項ニ對シ仕拂命令官及會計主務官ヨリ其手續上申スル儀ニ候哉(第四)會計規則第三十三條但書中定額拂切經費トハ如何ナル費目ヲ指シタルモノニ候哉

(官房第五課)回答 明治二十三年七月二十八日
第一第二前段御見解ノ通第三項以上ノ科目違其他重立チタルモノヲ除クノ外ハ御上申ニ及ハス第四貯金預所郵便受取所經費ノ類ヲ指シタルモノト存候

(逓信書記官)照會 明治二十四年二月七日
返納告知書ヲ交付後納人ニ於テ納金前紛失シタルトキハ更ニ發行シ納金後金庫ノ領收證ヲ紛失シタルトキハ金庫ノ證明書ヲ得テ差出サセ仕拂命令官ハ之ヲ受領シテ別ニ證明書ヲ造リ納人へ交付致シ可然乎

(大藏省主計局長) 回答 明治二十四年二月十日
右ハ御見込ノ通り御取扱相成可然候

(神戸出納掛) 何 明治二十六年二月二十七日 神甲第四四號

備員俸給ヲ毎月下旬渡ノ規定ニ據リ支給シタルモノニシテ支給後轉免等ニテ過渡トナリタル場合ニ於テノ返納金ハ高等官及列任官全額定額戻入ニ取扱可然候云々去ル二十三年九月二日附ヲ以テ大藏省主計局へ御照會ニ對シ全局ヨリ右支給期ハ勅令ヲ以テ規定ナキニヨリ過渡ト生スル場合ハ歳入ニ組入ル可キ義ニシテ定額戻入ハ難相成儀ナリ云々回答アリ然ルニ今同勅令第七號ヲ以テ毎月下旬之ヲ支給スルコトヲ得ト公布有之候上ハ本令ニ基キ支給シタル後轉免等ニテ過渡トナリタル場合ニ於テハ鐵道第四一四號長官違作業費元受及戻入手續第六條ニヨリ整理可致義ト相心得可然哉此段相伺候也

(會計課長) 指令 明治二十六年三月十八日 乙第二六七號

神甲第四四號ヲ以テ備員俸給毎月下旬支給ノ規定ニ據リ支給シタル後轉免等ニテ過渡トナリタル場合ニ於ケル戻入取扱方向出有之候處右ハ來意ノ通御取計可然存候此段及御答示候也

○特別會計鐵道公債返納告知書々式ノ件

大藏省主計局長へ照會 明治二十六年十月二十八日 甲第一六五九號

鐵道公債金歳出ノ前渡金概算渡金ノ返納ハ會計法第二十三條會計規則第六十三條第六十四條及明治二十二年貴省令第十六號ニ依リ定額戻入ニ取扱可然候得共返納告知書々式(總務(臨時)トアル欄内ニハ鐵道公債金歳出ト記載シ可然儀ニ候哉

坤第一三〇七號大藏主計局長回答 明治二十六年十一月一日
御見込ノ通り記載相成可然候

○誤拂過渡ニ附キ定額戻入方ノ件

(外務大臣官房會計課長) 照會 明治二十七年二月十六日

貴ニ及御照會候不用トナリタル旅費定額戻入取扱方ニ關シ本月五日坤第五〇〇號貴信ヲ以テ先年當省ニ於テマニラ領事館へ送金シタル旅費債主出發後到着不用トナリタル先例有之ニ付右整理方取計可然旨御回答ノ趣了承然ルニ右マニラ領事館へ送付セシハ前渡金ニテ後チ經費仕拂還額トシテ歳入金ニ編入シタルモノニ有之先般御照會ニ及ヒタル旅費ハ概算渡ニシテ其送金本人へ到着前辭職シタルカ故ニ不用ニ相成其儘返戻シ來リテ金庫ニ保管シアルヲ以テ之ヲ定額戻入セントスルモノニ有之候へハ自ラ其性質相異リ居候ニ付本件ノ先例ニハ相成ラサル儀ニ候仍テ右定額戻入方ニ關シ若シ別ニ先例無之儀ニ候ハ、如何ノ手續ヲ以テ取扱可然旨御意見承知致度

(大藏省主計局) 回答 明治二十七年二月二十八日

今同當省大臣ヨリ別紙寫ノ通金庫出納役へ令達相成候ニ付該達ノ趣旨ニ依リ御整理相成可然

(別紙)

仕拂命令官ヨリ金庫ニ送付シタル仕拂命令若クハ仕拂請求書ニシテ受取人ニ現金交付前ニ於テ誤拂過渡ニ出テタルコトヲ發見シ仕拂命令官ヨリ仕拂命令若クハ仕拂請求書ノ金額誤拂過渡ニ出テタル旨ヲ以テ左ノ事項ヲ記入シタル定額戻入請求書ノ送付ヲ受ケタルトキハ金庫ハ該請求書ノ指定ニ從ヒ戻入ノ手續ヲ爲シ直チニ其旨ヲ當該仕拂命令官ニ通知スヘシ

仕拂命令若クハ仕拂請求書ノ金額、番號、年度、所管廳科目、振出日付、仕拂命令官氏名、受取人氏名

○定額戻入誤謬整理方ノ件

(司法大臣官房會計課長) 照會 明治二十七年三月十日

定額戻入ノ後誤謬ヲ發見シ歳入へ編入ヲ要スルトキ整理手續ニ付二十四年六月貴省令第十五號ヲ以テ規定相成居候處右ハ會計規則ノ改正ニ伴ヒ自然消滅セシヤニ思考致候果シテ然ラハ爾後如何ナル手續ニ依リ更正可然哉

(大藏省主計局) 回答 明治二十七年四月四日

一仕拂命令官ハ返納告知書ヲ以テ定額戻入シタル金何程ハ誤謬ナルニ依リ其定額戻入ヲ取消シ更ニ歳入ニ編入ヲ要スル旨ヲ金庫へ請求スル事

但該請求書ニハ返納告知書ノ番號日附年度主管廳科目金額返納人氏名及歳入ノ年度主管廳取扱收入官吏ヲ附記スルモノトス

二 仕拂命令官前項ノ請求ヲ爲シタルトキハ直チニ其旨ヲ歳入調定官ニ通知シ調定官ハ之ヲ收入官吏ニ通知スル事
 三 金庫ハ第一項ノ請求ヲ受ケタルトキハ其請求書ニ指定ノ定額戻入ヲ取消シ更ニ之ヲ其歳入ニ編入シタル上直チニ
 其旨仕拂命令官及收入官吏ニ通知スル事
 但 收入官吏ニ送付スル通知書ニハ第一項但書ニ依リ請求書ニ記載スヘキ事項ヲ附記スルモノトス
 四 收入官吏ハ第二項ノ通知ニ依リ調定済ノ記帳ナシ第三項ノ通知ニ依リ收入済ノ記帳ヲ爲ス事

○乾第一三八號 明治二十七年二月二日 (大藏大臣) 通牒

明治二十三年六月二十三日付乾第二三八三號追書ヲ以テ作業及鐵道會計返納告知書式ノ義ニ付及御通牒置候處右ハ容
 年大藏省令第二十六號返納告知書式ニ準シ調製シ該書式中「所管廳」ヲ「何々廳(作業所又ニ「經常(臨時)」ヲ「作業(鐵
 道)會計部」ニ改メ御發行相成度此段及御通牒候也

○返納告知書誤謬ヲ發見セシトキ整理手續 明治二十四年六月六日 大藏省令第一五號

明治二十二年太藏省令第十六號ニ依リ發シタル返納告知書ニシテ金庫ニ於テ現金領收済ノ後誤謬
 ヲ發見シ其全部若クハ一部ヲ歳入ニ編入ヲ要スルトキ整理手續左ノ通り定ム
 第一條 返納告知書ノ金額全部誤謬ニ係ルトキハ當該仕拂命令官ハ該告知書別符裏面ニ誤謬ニ付
 歳入ニ編入スル旨ヲ記入シ署名捺印ノ上歳入ノ調定官ヲ經テ之ヲ收入官吏ニ交付スヘシ
 返納告知書ノ金額一部誤謬ニ係ルハ當該仕拂命令官ハ該告知書別符ノ寫ヲ作り其裏面ニ返納
 額ノ内若干ハ過納ニ付歳入ニ編入スル旨ヲ記シ署名捺印ノ上別符本書ト割印シテ歳入ノ調定官
 ヲ經テ之ヲ收入官吏ニ交付スヘシ
 第二條 收入官吏ハ別符若クハ別符寫ノ交付ヲ受ケタルトキハ一般ノ順序ニ依リ收入簿ノ登記ヲ
 了シ之ニ現金拂込書ヲ添ヘ當該金庫ニ拂込ヘシ
 第三條 金庫ハ前條ノ拂込ヲ受ケタルトキハ別符若クハ別符寫ニ依リ當該仕拂命令官ニ係ル雜部

金ヨリ該金額ヲ拂出シ更ニ現金拂込書ヲ以テ歳入ニ編入ノ手續ヲナスヘシ但該返納告知書裏面
 ニ仕拂命令官某ノ作りタル別符若クハ別符寫ニ依リ歳入ヘ組換タル旨ヲ記入シ別符若シクハ別
 符寫ト共ニ之ヲ保存スヘシ

○改正會計規則施行ノ際定額戻入取扱方心得 明治二十六年十二月十八日 大藏省訓令第五九號

會計主務官 金庫出納役

改正會計規則施行ノ際定額戻入取扱方左ノ通心得ヘシ
 仕拂命令官ニ於テ明治二十六年十二月三十一日迄ニ返納告知書ヲ發シタルモ未タ定額戻入ノ檢視
 ヲ受ケサルモノハ明治二十七年一月一日以後ニ於テ本年當省令第二十六號附屬書式ノ通知書ニ舊
 式第何號返納告知書發付済ノ分ト朱書シ金庫ニ送付スヘキニ付金庫ハ左ノ區分ニ據リ取扱フヘシ
 (甲) 既ニ返納人ヨリ返納済ニシテ雜部ニ領收シタル分ハ仕拂命令官ヨリ送付セル通知書ニヨリ
 雜部ヲ拂出シ定額へ戻入シ本年當省令第二十六號附屬書式中仕拂命令官ヘノ通知書ニ準シタ
 ル通知書ヲ作り仕拂命令官ニ送付シ仕拂命令官ヨリ送付セル通知書ハ金庫ニ留メ置クヘシ
 (乙) 返納人ヨリ返納未済ノモノハ追テ返納アリタルトキ仕拂命令官ヨリ送付セル通知書ニ據リ
 直ニ定額へ戻入シ舊式領收證書ノ別符ハ金庫ニ於テ之ヲ切離シ仕拂命令官ヘノ通知書ニ代用
 シ仕拂命令官ニ送付スヘシ但仕拂命令官ヨリ送付セル通知書ヲ金庫ニ留メ置クハ前項ニ同シ
 明治二十七年一月一日以降舊會計主務官ニ於テ明治二十六年中ニ發遣シタル定額戻入檢視済令達
 書ヲ領受シタルトキハ直ニ之ヲ當該金庫ニ送付シ其旨大藏省ニ報告スヘシ
 金庫ニ於テ舊會計主務官ヨリ前項令達書ノ送付ヲ受ケタルトキハ該金額ヲ支出簿仕拂命令受領済
 額欄内ニ朱記シ摘要ニ舊會計主務官某ヨリ送付ヲ受ケタル令達書ノ金額ナル旨ヲ掲記スヘシ但金

庫ニ於テ雜部ヲ拂出シ定額へ戻入ヲ爲スハ舊ノ如ク金庫へ對スル令達書ニ據ルモノトス
金庫ハ前各項ニ據リ返納金ノ整理ニ至ル迄ハ帳簿計算報告等凡テ從前ノ通取扱フヘシ

○定額戻入取扱方ノ中仕拂命令官ニ關スル件 明治二十六年十二月二十六日
訓令第五號

遞信省所管經費仕拂命令官

本年大藏省訓令第五十九號改正會計規則施行ノ際定額戻入取扱方中仕拂命令官ニ關スル件ハ該訓
令ノ手續ニ依リ取扱フヘシ

○仕拂命令仕拂請求書ニ「イロハ」等記號ヲ附シタルモノニシテ定額戻入ヲ

要スルトキ該記號附記ノ件 明治二十三年八月十四日
大藏省訓令第一一八號

造幣局 印刷局 税關
北海道廳 府 縣

仕拂命令仕拂請求書ニ「イロハ」等ノ記號ヲ付シタルモノニシテ定額戻入ヲ要スルトキハ其請求書
仕拂命令番號ノ欄ニモ該記號ヲ付記スル儀ト心得ヘシ

○定額ニ戻入ヲ爲シ得ヘキ期限ヲ過キ納人現金ヲ金庫ニ納入シタル取

扱方 明治二十六年十一月二十四日
大藏大臣照會第四四七三號

定額ニ戻入ヲ爲シ得ヘキ期限ヲ過キ返納人現金ヲ金庫ニ納入シタル場合ニハ金庫ニ於テ之ヲ其納
入アリタル日ノ屬スル年度ノ歳入トシテ領收シ其旨ヲ當該仕拂命令官ニ通知可致管ニ付仕拂命令
官右ノ通知ヲ受ケタルトキハ右金額ノ歳入科目取扱主任收入官吏官氏名等ヲ當該金庫ニ通知シ全
時ニ本文金額歳入ニ編入方ヲ歳入調定官ニ通知シ歳入調定官ハ其金額科目年度等ヲ主任收入官吏
ニ通知セシムル事ニ御取計相成度候也

第八章 決算

○會計法第五章 決算 明治二十二年二月十一日 (本文ハ略ス)
法律第四號

○會計規則第五章 決算 明治二十二年四月三十日 (本文ハ略ス)
勅令第六〇號

○會計規則第五章 第一款 總決算 明治二十二年四月三十日 (本文ハ略ス)
勅令第六〇號

○會計規則第五章 第二款 各省決算書及收入支出計算書 明治二十二年四月三十日
勅令第六〇號 (本文ハ略ス)

○會計規則第五章 第三款 國債計算書 明治二十二年四月三十日 (本文ヲ略ス)
勅令第六〇號

○會計規則第五章 第四款 特別會計計算書 明治二十二年四月三十日 (本文ハ略ス)
勅令第六〇號

第一節 收入證明

○作業及鐵道會計歳入確定額證明規程 明治二十六年十二月二十八日
會計検査院達第四號

作業及鐵道會計歳入確定額證明規程
左ノ通定ム

第一條 作業及鐵道會計規則第九條第二項ニ據リ作業事務長又ハ作業支部局長ヨリ會計検査院ニ
證明スヘキ歳入確定額計算書ハ別記書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 左ノ事項ハ歳入確定額計算書ノ備考ニ記載スヘシ但事ノ複雑ニ涉ルモノハ説明書若クハ
其事由ヲ確認シ得ヘキ書類ヲ添付スヘシ

- 一 豫算各目ノ金額ニ比シ確定額ニ増減アリシトキハ其事由
- 二 過誤納ニ係ルモノニ其下戻ヲ了シタル者又ハ下戻ヲ要スヘキモノアルキハ各其金額事由
- 第三條 歳入確定額證明上證憑書類トシテ提出スヘキモノ左ノ如シ
 - 一 物件ノ賣却貸下ニ關スル各種ノ契約書又ハ決議書若クハ製造願書
 - 二 物件ノ品目數量價格及納金者ノ氏名ヲ記載シタル明細書但收入濟ニ係ルモノハ納金者ヨリ差出シタル納入書ヲ以テ代用シ又ハ前項ノ書類ニ於テ本項ノ條件ヲ明記セルモノ本項明細書ヲ省略スルコトヲ得
 - 三 客車貨車其他ノ收入ニシテ前各項ノ書類ヲ提出シ難キ者ハ其計算ノ基ク所ヲ詳記セル明細書

第四條 證憑書類ハ原本ニ限ル若シ其原本ヲ提出シ難キ場合ニ於テハ當該官吏ノ保證アル謄本ヲ以テスヘシ

第五條 會計規則第八十條第八十一條ニ基キ競争契約ヲナセシ者アルキハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

- 一 物件賣却又ハ貸下ノ理由書
- 二 會計規則第七十四條ニ基キタル公告書但再入札ノ場合ニ於テハ前公告書共
- 三 豫定價格調書

第六條 落札以下三番札マテ但再入札ノ場合ニ於テハ前入札最高ノ分共

第七條 證憑書類ノ編纂ハ各目ニ區分シ其金員枚數ヲ表記スヘシ但特ニ各目ヲ合セテ簿冊ヲ爲セシモノハ區分ヲ要セス

附則
第七條 本規程ハ明治二十七年一月一日ヨリ施行ス
(別記)

(數箇所ニ主任收入官吏ヲ置タル時ハ此區分ヲナスヘシ) 確定額區分

摘要	某應		某應		某應		某應		計	
	圓	錢	圓	錢	圓	錢	圓	錢	圓	錢
何々(項)										
何々(目)	0		0		0		0		0	
何々(目)	0		0		0		0		0	
合計	0		0		0		0		0	
何々(項)										
何々(目)	0		0		0		0		0	
何々(目)	0		0		0		0		0	
合計	0		0		0		0		0	
總計	0		0		0		0		0	

明治何年度何々(款)歳入確定額計算書面之通相違無之候也
 作業事務長(作業支部局長)官氏名()
 會計検査院長宛
 年 月 日

明治何年度何々(款)

歳入確定額計算書

凡例
 一 計算書ノ受授スルモノハ其年月日ヲ各自該表
 紙ニ記載スヘシ
 二 計算書ノ用紙ハ厚質紙ヲ用ヒ左側
 三 計算書ノ寸法ハ縦長クシテ
 訂正ハ改竄スルトキハ二線ヲ横シ主任官吏之
 捺印スヘシ

名、 應

摘要	豫算額		確定額		豫算額ニ比シテノ増減		備考
	圓	銭	圓	銭	増	減	
何々(項)							
何々(目)	0		0		0	0	
何々(目)	0		0		0	0	
合計	0		0		0	0	
何々(項)							
何々(目)	0		0		0	0	
何々(目)	0		0		0	0	
合計	0		0		0	0	
總計	0		0		0	0	

○作業及鐵道會計收入證明規程 明治二十六年十二月二十八日
會計検査院達第六號

作業及鐵道會計收入證明規程

第一條 作業及鐵道會計規則第四十三條第四十四條ニ據リ收入官吏ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ
作業收入計算書現金出納計算書ハ別記書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 一會計年度中收入官吏ノ交替アリシトキ後任收入官吏ノ證明スヘキ收入計算書ニ於テハ
尙ホ前任收入官吏ノ計算額ヲ併算スヘシ

前任收入官吏ヨリ提出スヘキ收入計算書中確定額ハ作業事務又ハ作業支部局長ノ保證ヲ受ケテ
之ヲ提出スヘシ

分任收入官吏交替ノトキハ特ニ其收入計算書ヲ調製シ證明ヲ爲スコトヲ得但此場合ニ在テハ主
任收入官吏ヲ經由スヘシ

第三條 毎年度歳入確定額ノ内收入未済ニ係ルモノアルトキハ毎件其金額事由所屬年度及督促ノ
顛末等ヲ詳記セル收入未済額明細書ヲ調製シ作業收入計算書ニ添付スヘシ

第四條 現金出納證明上提出スヘキ證憑書類ハ金庫ノ領收證書トス
證憑書類ノ編纂ハ各目ニ區分シ其金員枚數ヲ表記スヘシ但各目ノ枚數僅少ナルトキハ合冊ト爲
シモ妨ケナシ

第五條 下検査官吏ハ計算書類ノ下検査ヲ完了シ翌年度六月二十五日以内ニ其應ヲ發シ之ヲ會計
検査院ニ送付スヘシ

第六條 下検査書ハ計算書毎ニ區分調製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一 計算書明細書其他證憑書類ノ件名冊數

二 作業收入計算書ハ收入簿現金出納計算書ハ現金出納簿ト符合及拂込未済現存額ヲ認メタル
保證但當該下検査官吏ニ於テ事實執行シ難キ場合ニ於テハ他ノ監督ノ任アル官吏ノ保證書ヲ
以テスルコトヲ得

三 事實ニ適合セスト認定セシ事項ノ金額事由

第七條 收入官吏ニ對スル審理書及之ニ對スル報告書ハ總テ下検査官吏ヲ經由スヘシ

附則

第八條 本規程ハ明治二十七年一月一日ヨリ施行ス

第九條 明治二十七年一月一日以前ヨリ收入官吏ノ職ニ在テ引續キ分任收入官吏トナリタルモノ
ハ總テ其計算ヲ主任出納官吏ノ計算書ニ併算シ其事由ヲ備考ニ記載スヘシ

(別記)

摘要	確定額			收入額	收入未濟額	備考
	前年度收入未濟額	本年度確定額	計			
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘			
何々(項)						
何々(目)	0	0	0	0	0	
何々	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	
何々						
何々	0	0	0	0	0	
何々	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	
總計	0	0	0	0	0	
身元保證金						
現金	0圓					
公債證書額面	0圓					
土地房屋地價格	0圓					
保證人	氏名					
"	氏名					

(分任收入官吏ヲ置キタルトキノ例) 收入濟額區分

摘要	(主任)何官某	(分任)何官某	何官某	何官某	何官某	計
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
何々(項)						
何々(目)	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0
項合計	0	0	0	0	0	0
何々						
何々	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0
項合計	0	0	0	0	0	0
總計	0	0	0	0	0	0
現金領收高	0	0	0	0	0	0

明治何年度何々(款)收入計算書面之通相違無之候也

收入官吏官氏名印

會計検査院長宛

年 月 日

拂 込 濟 額 區 分						
摘 要	(主 任)	(分 任)	何 官 某		計	
	何 官 某	何 官 某	何 官 某	何 官 某	何 官 某	何 官 某
何 々 (項)	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
何 々 (目)	0	0	0	0	0	0
何 々 (目)	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0
何 々 (項)						
何 々 (目)	0	0	0	0	0	0
何 々 (目)	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0
總 計	0	0	0	0	0	0
(年度末又ハ主任官吏交替) ノトキ現金拂込未済ニ係 ルモノアルトキハ式ノ如 ク掲記スヘシ						
拂 込 未 済 額	0	0	0	0	0	0

明治何年度何々(款)現金出納計算書面之通相違無之候也

收入官吏官氏名印

會計検査院長宛

年 月 日

明治何年度何々(款)

收 入 計 算 書

應 名

一 凡 例

計 算 書 受 授 スル 月 日 各 自 該 表

紙 算 尺 一 寸 用 紙 厚 實 摺 紙 引 美 濃 紙 用 井 左 側

計 算 書 一 寸 用 紙 厚 實 摺 紙 引 美 濃 紙 用 井 左 側

訂 正 書 一 寸 用 紙 厚 實 摺 紙 引 美 濃 紙 用 井 左 側

捺 印 スル 要 求 書 一 寸 用 紙 厚 實 摺 紙 引 美 濃 紙 用 井 左 側

摘要	領收濟額						拂込額	拂込未済額	備考
	前年度拂込未済之分		本年度分		計				
	圓	錢	圓	錢	圓	錢			
何々(項)								○一年度内ニ交換アリシトキハ後任官吏ノ計算書領收濟額中(前年度拂込未済ノ分)ナ(前任官吏拂込未済ノ分)ト爲スヘシ ○拂込未済額ニシテ後任官吏ニ引續テ爲セシ者アルキハ其事由ヲ備考ニ記載スヘシ	
何々(目)	0		0		0		0		
何々(目)	0		0		0		0		
合計	0		0		0		0		
何々(項)									
何々(目)	0		0		0		0		
何々(目)	0		0		0		0		
合計	0		0		0		0		
總計	0		0		0		0		

明治何年度何々(款)

現金出納計算書

應 名

一 凡例

二 計算書ヲ受授スルモノハ其年月日ヲ各自該表ニ記載スヘシ

三 計算書ノ用紙ハ厚實摺引美濃紙ヲ用ヒ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明クヘシ

四 計算書ハ改描捺キヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横畫シ主任官吏之捺印スヘシ

○稅外歲入調定額證明規程 明治二十七年三月三日
會計検査院達第八號

稅外歲入調定額證明規程

第一條 會計規則第五十二條第二項ニ據リ歲入調定官ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ租稅外歲入調定額計算書ハ別記書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 左ノ事項ハ調定額計算書ノ備考ニ記載スヘシ但事ノ複雜ニ涉ルモノハ説明書若クハ其所由ヲ確認シ得ヘキ書類ヲ添付スヘシ

一 調定上ノ過誤ニシテ其下戻ヲ要スヘキモノアルトキハ其金額事由既ニ下戻ヲ了シタルモノハ其年度年月日共但數箇所ニ主任收入官吏ヲ置キタルモノハ各官吏取扱額ノ區分ヲ要ス

二 調定不足ニシテ追徴ヲ要スヘキモノアルトキハ其金額事由

第三條 歲入調定ニ關スル證憑書類トシテ提出スヘキモノ左ノ如シ

第一左ノ事項ニ對シテハ其契約書但契約書ヲ要セサリシモノハ其決議書

一 地所及建物ノ拂下
二 見積價格貳百圓以上ノ物品拂下
三 一箇年若クハ一回貸下料金五圓以上ノ地所其他ノ貸下但官舍貸下料及敷地料ハ之ヲ除ク尤官舍貸下料額ニ異動ヲ生シタルトキハ其評價書及異動ノ理由書ヲ要ス

四 艦船製造修繕ノ受託
第二海外電報料ニ對シテハ各郵便電信局ノ報告ニ係ル電報類別總計表

第四條 會計規則第八十條第八十一條ニ基キ取結ヒタル賣却又ハ貸下ニ關スル競争契約書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一 物件賣却又ハ貸下ノ理由書

二 會計規則第七十四條ニ基キタル公告書但再入札ノ場合ニ於テハ前公告書共

三 豫定格價調書

四 落札以下三番札マテ但再入札ノ場合ニ於テハ前入札最高以下三番札迄ノ分共

第五條 證憑書類中既ニ他ノ計算證明上會計検査院ニ提出濟ノモノアルトキハ其事由ヲ調定額計算書ノ備考ニ掲載スヘシ

第六條 證憑書類ノ編纂ハ各目ニ區分シ其枚數ヲ表記スヘシ尙ホ細別ヲ要スルモノハ適宜其區分ヲ爲スヘシ但各目ヲ合セテ簿冊ヲ成セシモノハ區分ヲ要セス

附則
第七條 稅關雜收入ニ關スル證明規程ハ別ニ之ヲ定ム
第八條 本規程ハ明治二十六年分ヨリ施行ス

(別記)

凡 例

一 調定官吏ニシテ數管理廳ニ屬スル調定事務ノ取扱ヲナシタルモノアルトキハ每管理廳別冊ニ其計算書ヲ調製スヘシ

二 調定額計算書内附申其様式ヲ示サトル收入事項ハ本書式ノ例ニ準シ適宜調製スヘシ

三 計算書ノ用紙ハ厚質縹沙引美濃紙ヲ用ヒ左側ニ曲尺一寸餘ノ線代ヲ明クヘシ

四 計算書ハ改摺塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横畫シ主任官吏之ニ捺印スヘシ

五 計算書ヲ授受スルモノハ其年月日ヲ各其表紙ニ記載スヘシ

六 本書式ノ外支部局等ヲ分ツノ必要アルモノハ適宜其區別ヲ爲スヘシ

濟 額 區 分

某 所	某 所	某 所	某 所	計	摘 要	調定濟額		備 考
						圓 錢 厘	圓 錢 厘	
					歳入臨時部 (歳入經常部ニ同シ)			
0	0	0	0	0				
0	0	0	0	0				
0	0	0	0	0				
0	0	0	0	0				
0	0	0	0	0				
0	0	0	0	0				
0	0	0	0	0				
0	0	0	0	0				
0	0	0	0	0				

摘 要	調定濟額		備 考
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	
歳入經常部			
何々(款)			
何々(項)			
何々(目)	0		
何々	0		
項合計	0		
何々			
何々	0		
何々	0		
項合計	0		
款合計	0		
何々			
(以下前例ニ同シ)			
經常部合計	0		

明治何年度
歳入經常部
何々(款)何々(款)
歳入臨時部
何々(款)何々(款)
調定額計算書

應 名

紙及登記印紙料

手 數 料

調定額	延納翌年度へ越高	備考	前年度延納高	費 下 代 價				合 計
				六分引	七分引	何 々		
				計	計	計	計	
0	0		0	0	0	0	0	
0	0		0	0	0	0	0	
0	0		0	0	0	0	0	

(数箇所ニ主任収入官吏ヲ置キタ) 調 定
ルトキハ此區分表ヲ付スヘシ

歳入經常部内譯

摘 要	某 所		
	回 銭 出	回 銭 出	回 銭 出
歳入經常部			
何々(款)			
何々(項)			
何々(目)	0	0	0
何々	0	0	0
項合計	0	0	0
何 々			
何 々	0	0	0
何 々	0	0	0
項合計	0	0	0
款合計	0	0	0
何 々 (以下前例ニ同シ)			
經常部合計	0	0	0
歳入臨時部 (歳入經常部ニ同シ)			

訴訟用印

因 徒 工 錢 收 入

摘 要	調定済額	備 考	調定済額		
			面	銭	厘
製造品 拂下					
煉 化 石	0				
”	0				
瓦 漉 返 紙	0				
何 々 々	0				
何 々 々	0				
計	0				
農 産 物 拂 下					
大 大 麥	0				
何 何 根	0				
何 何 々	0				
何 何 々	0				
計	0				
何 々 拂 下					
何 々 々	0				
何 何 々	0				
何 何 々	0				
何 何 々	0				
計	0				

訴訟用印紙料
登記印紙料
合 計

(内ハ朱書)

因 徒 工 錢 收 入

備 考	摘 要	調定済額	備 考	調定済額	
				面	銭
	因 徒 傭 錢				
	何所何々製ノ爲某へ貸與	0	0		
	何 々 々	0	0		
	何 々 々	0	0		
	何 何 雑	0	0		
	計 計	0	0		
	合 計	0	0		

一 摘要欄内賃錢ハ其負額ノ異ナルニ隨ヒ區分掲載スヘシ

一 居留地等ニシテ年期ノ定ナキ貸下地アルトキハ年期貸下地ノ例ニ倣ヒ區分掲載スヘシ
 二 年期貸下地ニ係ル料金ハ年額ヲ一時貸下地ニ係ル分ハ其料金ノ全額ヲ掲スヘシ
 三 減ノ部調定済額ハ調定済ノ金額ヲ朱書スルニ止メ墨書調定済額ト差引ヲ要セス

官有物貸下料		地所貸下料		
摘要		調定済額		備考
別段		料金額		
町	段	町	段	
何々ノ部 (以下前例ニ倣ヘ)				
總計			0	

官有物貸下料		地所貸下料		
摘要		調定済額		備考
別段		料金額		
町	段	町	段	
原野ノ部				
年期貸下地				
何年四月一日現貸在高ニ對スル分		0	0	0
増ノ部				
年額五圓以上ニテ貸渡ノ分				
何年何月貸渡		0	0	0
何月貸渡		0	0	0
年額五圓以内年期五箇年以上ニテ貸渡ノ分				
何年何月貸渡		0	0	0
何月貸渡		0	0	0
年額五圓以内年期五箇年以内ニテ貸渡ノ分				
何年何月貸渡		0	0	0
何月貸渡		0	0	0
増ノ部計		0	0	0
減ノ部				
何年何月満期ノ分		0	0	0
何年何月何々ニ依リ解除ノ分		0	0	0
何々		0	0	0
減ノ部計		0	0	0
増減差引計		0	0	0
一時貸下地				
一圓五圓以上ニテ貸下ノ分		0	0	0
一圓五圓以内ニテ貸下ノ分		0	0	0
計		0	0	0
前年度調定未済額				0
合計				0

金 違 約 金		辨 償 金		毀損紛失物品辨償金	
調定額	備考	摘 要	調定額	備考	
圓	銭		圓	銭	厘
0		何官某何品毀損(紛失)何年何月何日處分濟	0		
0		何官某何品外幾品毀損(紛失)何年何月何日處分濟	0		
0		何々々	0		
0		何々々	0		
0		兵卒(巡查)某外若干名物品毀損(紛失)ノ分	0		
0		何々々	0		
		合 計	0		

懲罰及沒收金		沒 收 金		懲罰及沒收金		
摘 要	調定額	備考	摘 要	調定額	備考	
	件數			圓	銭	厘
何税則違犯ノ沒收金	0		國事ニ關スル罪ノ罰金	0		員人
何々ノ沒收金	0		信用ニ關スル罪ノ	0		0
何々々	0		何々々	0		0
合 計			刑法違警罪ノ科料	0		0
			何々規則違犯ノ	0		0
			何々々	0		0
			合 計			

雑入返納金		辨償金		間接國稅犯則者 處分費辨納金	
摘要	調定済額	備考	摘要	調定済額	備考
何年度何費(款項目) 過拂ノ分何官某納 何々々	0 0	何年何月何日會計 検査院判決ノ分 何々々	書類送達費 何々々	0 0	
何年度何費(款項目) 誤拂ノ分某納 何々々	0 0	何年何月何日仕拂 ノ分 何々々	合計	0	
合計	0				

辨償金		國稅滯納處分費辨納金		辨償	
摘要	調定済額	備考	摘要	調定済額	備考
督促令狀手数料 差押調書(竊却調書何々)調 製費 滯納者債主買債主ニ對スル 通信費 差押物件運搬保管等ニ要セ シ費用 公 告 費 何 々 々	0 0 0 0 0 0 0		住所氏名何々入札保證金没 收ノ分 住所氏名何々ノ件ニ係ル違 約金 何 々 々 何 々 々	0 0 0 0 0 0	
合計	0		合計	0	

電信収入		切手類 賣下代		何々何々	
調定済額	備考	摘要	調定済額	備考	
0		(前年度ヨリ控却額又ハ不納缺損額アルトキハ此 式ニ據リ各目合計ノ次ニ繰越スヘシ以下做之)			
0		前年度繰越高			
0		何年三月三十一日未収入ノ分			
0		某所取扱ノ分 (数値所ニ主任収入官由)	0		
0		某所取扱ノ分 (字號キタルトキノ例)	0		
0		何年七月三十一日未収入ノ分			
		某所取扱ノ分	0		
		某所取扱ノ分	0		
		計	0		
		不納缺損高			
		本年度分			
		某所取扱何々係ル何々ノ分何々ノ事由ニ ヨリ缺損額分濟	0		
		何々	0		
		某所取扱何々	0		
		某所取扱何々	0		
		前年度繰越高ノ分			
		某所取扱何々係ル何々ノ分何々ノ事由ニヨリ 繰越分濟	0		
		何々	0		
		某所取扱何々	0		
		某所取扱何々	0		
		計	0		

(以下郵便電信収入、官報収入、北海道廳取扱雑収入ノ内雜入ニ關スル内譯書式)

官吏遺族扶助法納金 (製糧費補足金モ此例ニ準ス)

森

摘要	俸給月額		納金月額		月数	日数	調定済額		備考	摘要
	圓	銭	圓	銭			圓	銭		
勅任										
某官氏名	0		0		0		0			何年何月何日
何々	0		0		0		0			何年何月何日
計										
奏任										
某官氏名	0		0		0		0			何年何月何日
何々	0		0		0		0			何年何月何日
計										
判任										
某官氏名	0		0		0		0			何年何月何日
何々	0		0		0		0			何年何月何日
計										
合計										

郵便電信收入 約束郵便料			郵便電信收入 官報郵便料				
摘要	調定額		備考	摘要	調定額		備考
	圓	錢			圓	錢	
何	0			官報局卜締約高	0		
應	0						
總	0						
合計	0						

郵便電信收入 私書函料				(郵便電信收入ノ分) 郵便	
摘要	期限	月額		調定額	備考
		圓	錢		
何某外何人	何年何月何日何月			0	
何某外何人	何年何月何日何月			0	
合計				0	

摘要	備考
切手費下代	
封皮	—
葉書	—
帶皮	—
合計	

郵便電信収入 外國為替貨幣交換差増			郵便電信収入 外國為替歩合金				
摘 要	調定済額		備 考	摘 要	調定済額		備 考
	圓	銭 厘			圓	銭 厘	
英 國	0			英 國	0		
八 月	0			第 一 期	0		
九 月	0			第 二 期	0		
十 月	0			計	0		
計	0			佛 國	0		
佛 國	0			第 一 期	0		
第 一 期	0			第 二 期	0		
第 二 期	0			計	0		
計	0			合 計	0		
合 計	0						

郵便電信収入 外國郵便物遞送料差金					
摘 要	受入高	仕拂高	差 金	定調済額	備 考
	フランク	フランク	フランク	圓 銭 厘	
米國為替相場	0	0	0	0	
英國 ”	0	0	0	0	
何國 ”	0	0	0	0	
合 計	0	0	0	0	

郵便電信收入		電信取扱料		郵便電信收入			
摘要	調定額		備考	摘要	期限	每期定額	徵收度數
	圓	錢					
何	0			何	自何年何月至何年何月何日	0	0
何	0			何	— — —	0	0
應々合計	0			何人合計			
				何人合計			
				何人合計			

電話料		郵便電信收入		海外電報料		
摘要	調定額		備考	摘要	調定額	
	圓	錢			圓	錢
徵收度數	0			海外電報料	0	
	0					
	0					

普通月極購讀者區分				官報收入		官報登載手数料	
本年度分			備考	摘要	調定額		備考
年	月	購者數 發刊部數			同	額	
四	月			何會社何々廣告 何 合計	0	0	
五	月				0	0	
六	月						
七	月						
八	月						
九	月						
十	月						
十一	月						
十二	月						
一	月						
二	月						
三	月						
	合計						

官報收入		法令全書賣下代		官	
摘要		調定額		備考	
部數		同	額		
法令全書					
本年度發刊ノ分	0	0			
過年度發刊ノ分	0	0			
合計		0			
過年度發刊ノ分				本年度發刊部數	
月極普通賣下				0	
官報本紙				0	
同附錄外々				0	
同號				0	
同何				0	
計				0	
月極端數賣下				0	
官報本紙				0	
同附錄外々				0	
同號				0	
同何				0	
計				0	
月極特約賣下				0	
公報				0	
縣報				0	
一部賣下				0	
官報本紙				0	
同附錄外々				0	
同號				0	
同何				0	
計				0	
合計				0	

業 税					雑 入			
減	乙年一月一日現在高		調定済額	備 考	摘 要	戸 数		
	一等	何等				一等	二等	何等
〃	〃	〃	〃	○増減ニ對シテハ開業廢業ノ年月ヲ掲ケ計算ノ基礎ヲ明示スヘシ但事ノ複雑ニ係ルモノアルトキハ別冊ヲ以テ説明スヘシ雜種税及雜收モ亦同シ	甲年一月一日現在高			
					増 減			
					同年七月一日現在高			
					増 減			
					乙年一月一日現在高			
					合 計			

戸 数 割		(北海道廳取扱雜收) 入ノ内雜入ノ分				雑 入 地 租 割	
調定済額	備 考	摘 要	地 租		調定済額	備 考	
			四 銭 圓	四 銭 圓			
	○前項根室縣布達ニヨリ賦課シタルモノハ第一期ハ四月一日第二期ハ十月一日ノ現在高ヲ摘要ニ掲ケヘシ ○舊國館縣稅率施行ノ分ハ每期其賦課額ヲ掲ケヘシ	甲年一月一日現在高					
		増 減					
		有地租成明々 有納下年期何					
		計					
		減 成換々 道路目變何					
		甲年七月一日現在高					
		増 減					
		有地租成明々 有納下年期何					
		計					
		減 成換々 道路目變何					
		乙年一月一日現在高					
		合 計					

摘要	返納金		民業資本金		雜種貸		据置貸		備考
	歳首貸高		本年度返納スヘキ		歳首貸高ト調定濟額トノ差		本年度返納スヘキ高ト調定濟額トノ差		
	圓	錢	圓	錢	圓	錢	圓	錢	
元金ノ部									
民業資本金									
何々ノ爲何某ヘ貸下 (一箇年利子何分)	0		0		0		0		
何々ノ爲何某外若干名 ヘ貸下(一箇年利子何分)	0		0		0		0		
何々々々	0		0		0		0		
何々々々	0		0		0		0		
何々々々	0		0		0		0		
据置貸	0		0		0		0		
計	0		0		0		0		
合計	0		0		0		0		

一 民業資本金雜種貸一廉限リ其他ノ貸シ下ハ總額ヲ以テ掲出スヘシ
 本年度返納スヘキ高ハ歳首ノ員額ニ由リ掲出スヘシ但該員額ト調定濟額ト差
 違アルトキハ其事由ヲ記載スヘシ

摘要	物品拂下代		建物拂		備考
	調定濟額		種別		
	圓	錢	種別	建坪	
生産物					
蓮根	0	0	木造平家	0	
芝草	0	0	煉化二階家	0	
竹皮	0	0	何々々々	0	
何々	0	0	何々々々	0	
計	0	0	合計	0	
不用物品					
椅子	0	0			
卓子	0	0			
紙屑	0	0			
空書	0	0			
何々	0	0			
計	0	0			
宜没拾得品					
草入	0	0			
何々	0	0			
何々	0	0			
計	0	0			
合計	0	0			

一 拂下物品ハ每品ニ區分掲出スヘシ但瑣末ナル雜品ハ便宜類集スルモ妨ケナシ

返 納 金 何 々

摘 要	本年度収入スヘキ高		調定済額	本年度収入スヘキ高ト調定済額トノ差	備 考
	前年度調定未済ノ分	本年度分			
利 金 ノ 部					
何々ノ爲メ某へ貸下金ニ對スル利金	0	0	0	0	
何々ノ爲メ某外若干名へ貸下金ニ對スル利金	0	0	0	0	
何 々 々	0	0	0	0	
何 々 々	0	0	0	0	
合 計	0	0	0	0	

明治何年度歳入經常部何々(款)何々
 (款)歳入臨時部何々(款)何々(款)調定
 額書面之通相違無之候也
 調定官氏名 宛
 會計検査院長宛
 年 月 日

○租税外收入證明規程 明治二十七年三月三日
 會計検査院達第九號

租税外收入證明規程左ノ通定ム

租税外收入證明規程

- 第一條 會計規則第九十五條第九十七條ニ據リ收入官吏ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ租税外收入計算書現金出納計算書ハ別記第一號及第二號書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第二條 一會計年度中收入官吏ノ交替アリシトキ後任收入官吏ノ證明スヘキ收入計算書ニ於テハ尙ホ前任收入官吏ノ計算額ヲ併算スヘシ
- 前任收入官吏ヨリ提出スヘキ收入計算書中調定済額ハ當該歳入調定官ノ保證ヲ受ケテ之ヲ提出スヘシ
- 身元保證金ヲ納メタル分任收入官吏交替ノトキハ特ニ其收入計算書ヲ調製シ證明ヲ爲スコトヲ

得但此場合ニ在テハ主任收入官吏ヲ經由スヘシ

第三條 毎年度歳入調定済額ノ内收入未済ニ係ルモノアルトキハ毎件其金額事由所屬年度及督促ノ顛末等ヲ詳記セル收入未済額明細書ヲ調製シ收入計算書ニ添付スヘシ

但事ノ複雑ナラサルモノハ計算書ノ備考ニ記載シ明細書ヲ省略スルコトヲ得
第四條 左ノ事項ハ各其計算書ノ備考ニ記載スヘシ但事ノ複雑ニ渉ルモノハ説明書若クハ其所由ヲ確認シ得ヘキ書類ヲ添付スヘシ

- 一 前年度ヨリ繰越ノ收入未済額ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其金額事由
- 二 欠損補填金ヲ受タルモノアルトキハ其金額事由
- 三 金庫へ拂込未済ノ金額アリシトキハ其事由

第五條 現金出納證明上提出スヘキ證憑書類ハ金庫ノ領收證書トス

證憑書類ハ所屬年度ニ區分編纂シ其金員枚數ヲ表記スヘシ但枚數僅少ナルトキハ合冊ト爲スモ妨ケナシ

第六條 下検査官吏ハ計算書ノ下検査ヲ完了シ左ノ期日内ニ其應ヲ發シ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

- 一 收入計算書ハ翌年度九月二十五日以内
- 二 現金出納計算書ハ翌年度六月二十五日以内

第七條 下検査書ハ計算書毎ニ區分調製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 計算書若クハ證憑書類ノ件名冊數
- 二 收入計算書ハ收入簿現金出納計算書ハ現金出納簿トノ符合及拂込未済現存額ヲ認メタル保證但當該下検査官吏ニテ事實執行シ難キ場合ニ於テハ他ノ監督ノ任アル官吏ノ保證書ヲ

以テスルコトヲ得

三 事實ニ適合セスト認定セシ事項ノ金額事由

第八條 收入官吏ニ對スル審理書及之ニ對スル報告書ハ總テ下検査官吏ヲ經由スヘシ

附 則

第九條 税關雜收入ニ關スル證明規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十條 本規程ハ明治二十六年度分ヨリ施行ス

第十一條 明治二十七年一月一日以前ヨリ收入官吏ノ職ニ在テ引續キ分任收入官吏トナリタルモノハ總テ其計算ヲ主任收入官吏ノ計算書ニ併算シ其事由ヲ備考ニ記載スヘシ

(別記)

凡 例

- 一 收入官吏ニシテ數管理廳ニ屬スル收納事務ノ取扱ナシタルモノアルトキハ每管理廳別冊ニ其計算書ヲ調製スヘシ
- 二 收入官吏交替其他ノ事故ニ依リ一年度ヲ通セサルモノアルトキハ計算書ノ表紙及未文何年度ノ次ニ何月日ヨリ何月日ニ至ルト記入スヘシ
- 三 計算書ノ用紙ハ以實藝沙引美濃紙ヲ用井左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明クヘシ
- 四 計算書ハ改描塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横斷シ主任官吏之ニ捺印スヘシ
- 五 計算書ヲ受授スルモノハ其年月日ヲ各其表紙ニ記載スヘシ

摘要	調定済額			収入済額		
	前年度収入未済ノ分	本年度納入告知ノ分	計	前年度収入未済ノ分	本年度納入告知ノ分	計
	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘
歳入經常部						
何々(款)						
何々(項)						
何々(目)	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0
項合計	0	0	0	0	0	0
何々						
何々	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0
項合計	0	0	0	0	0	0
款合計	0	0	0	0	0	0
何々						
(以下前例=同シ)						
經常部合計	0	0	0	0	0	0
歳入臨時部 (歳入經常部=同シ)						

不納 決損額	収入未済額			備考
	前年度収入未済ノ分	本年度納入告知ノ分	計	
	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	
				一 調定外誤納アリタルトキハ収入済額中「本年度納入告知ノ分」次ニ「調定外誤納」一區ヲ設ケ其負數ヲ掲上シ備考ニ其事由ヲ記載スヘシ
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0	0	0	0	

第一號

明治何年度
歳入經常部
何々(款)何々(款)
歳入臨時部
何々(款)何々(款)
収入計算書

廳 名

領 收 濟 額		備 考	
前年度拂込 未済ノ分	本年度分	計	備 考
圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	
0	0	0	一 一年度内ニ交替アリシトキ後任官吏ノ計算書領收濟額中(前年度拂込未済ノ分)ヲ(前任官吏拂込未済ノ分)トナスヘシ 二 拂込未済額ニシテ後任官吏ヘ引繼ヲ爲セシモノアルトキハ其理由ヲ備考ニ記載スヘシ
0	0	0	
0	0	0	
0	0	0	
0	0	0	
0	0	0	
0	0	0	
0	0	0	
0	0	0	
0	0	0	

區 分			計		摘 要	
某氏	所名	某氏	所名	圓 銭 厘	圓 銭 厘	
				0	0	歳入經常部
				0	0	何年度々(款)
				0	0	何々(項)
				0	0	何々(目)
				0	0	何々
				0	0	項合計
						何々
						何々
				0	0	項合計
						款合計
				0	0	何々
				0	0	(以下前例=同シ)何年度分合計
						何年度
						(以下前例=同シ)經常部合計
						歳入臨時部
						(歳入經常部=同シ)
						身元保證金
						現金
						公債證券類
						土地臺帳登記價格
						保 證 人 氏 名
						氏 名
						(分任收入官ニ於テ身元保證金ヲ擔保セシモノアルトキハ注任官ノ分ト爲分シテ記載スヘシ)

拂 込 濟 額

摘 要	(主任収入官吏) 某氏 所名			(分任収入官吏) 某氏 所名			某氏 所名		
	圓	錢	厘	圓	錢	厘	圓	錢	厘
歳入 經常部									
何 年 度									
何 々 (款)	0			0			0		
何 々	0			0			0		
何 々	0			0			0		
合 計	0			0			0		
何 年 度									
(以下前例 = 同シ)									
經常部合計	0			0			0		
(主任収入官吏等ノトキ現金拂込未 ニ保ルモアルトキハ之ノ加ク精進スヘシ)									
拂込未済額	0			0			0		
歳入 臨時部									
(歳入經常部 = 同シ)									

明治何年度間歳入經常部何々(款)何々(款)
歳入臨時部何々(款)何々(款)現金出納計算
書面ノ通相違無之候也

収入官吏官氏名印

會計検査院長宛

年 月 日

○計算書式中分任官吏身元保証金記載方ノ件 明治二十七年五月十五日 鐵計第一九〇七號

(計理課長)照會 會計検査院長宛

客年十二月貴院達第六號作業及鐵道會計收入證明規程收入計算書々式中各分任収入官吏身元保証金記載ノ凡例無之右
ハ仕拂計算書凡例ノ如ク各分任収入官吏ノ身元保証金額ヲ掲載可致義ニ候哉疑義相生候條至急何分ノ御回報ヲ煩度此
段及御照會候也

追テ一主任収入官吏所屬ノ分任収入官吏ハ數十名ニシテ收入計算書ニ身元保証金ヲ列記スルハ數業ニ涉リ複雑ナ
ルヲ以テ身元保証金ノ場處へ身元保証金ハ別紙任譯書ノ通リト記載任譯書提出致度此段申添候也

(會計検査院部長)回答 明治廿七年五月廿一日 送第八四〇號

右ハ御來示ノ通ニテ可然候

○作業歳入ニ關スル收入計算書様式ノ件 明治二十七年四月四日 鐵第三四五號

(局長)照會 會計検査院長宛

○作業収入ノ内雑収入證書編纂區分ノ件

(會計検査院部長) 照會 明治二十六年二月二十二日 送第三四四號

貴院作業収入ノ内雑収入證書編纂方何等ノ區分モ無之處自今ハ壹ケ年兩回若シクハ三四回ニ徵收ノ營業及地所使用料ノ如キハ其人毎ニ全年分取集メ編纂相成度此段及御照會候也

(鐵道廳第三部長) 回答 明治二十六年二月廿四日 甲第一五五號

御照會ノ趣了承右御申越ノ如ク編纂可致機夫々通牒可致候此段及御回答候也

○官設鐵道用品資金會計歲入確定額證明規程 明治二十七年五月十五日
會計検査院達第一六號

官設鐵道用品資金會計歲入確定額證明規程左ノ通定ム

官設鐵道用品資金會計歲入確定額證明規程

第一條 官設鐵道用品資金會計規則ニ據リ當該官吏ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ歲入確定額計算書ハ別記書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 左ノ事項ハ歲入確定額計算書ノ備考ニ記載スヘシ但事ノ複雜ニ涉ルモノハ説明書若クハ其所由ヲ確認シ得ヘキ書類ヲ添付スヘシ

一 豫算各目ノ金額ニ比シ確定額ニ増減アリシトキハ其事由
二 過誤納ニ係ルモノニシテ其下戻ヲ了シタルモノ又ハ下戻ヲ要スヘキモノアルトキハ各其金額事由

第三條 歲入確定額證明上證書書類トシテ提出スヘキモノ左ノ如シ

- 一 物品ノ賣却ニ關シテハ經費ノ各科目ニ對スル賣拂代價任譯書但原價(購入原價ニ製作費修理費等ヲ加ヘタル者ヲ云)及損減歩合ノ記載ヲ要ス
- 二 不用物品ノ賣却ニ關シテハ各種ノ契約書又ハ決議書

第四條 證書書類ハ原本ニ限ル若シ其原本ヲ提出シ難キ場合ニ於テハ當該官吏ノ保證アル謄本ヲ以テスヘシ

第五條 會計規則第八十條第八十一條ニ基キ競争契約ヲ爲セシモノアルトキハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

- 一 物件賣却ノ理由書
 - 二 會計規則第七十四條ニ基キタル公告書但再入札ノ場合ニ於テハ前公告書共
 - 三 豫定價格調書
 - 四 落札以下三番札マテ但再入札ノ場合ニ於テハ前入札最高ノ分共
- 第六條 證書書類ノ編纂ハ各目ニ區分シ其金員枚數ヲ表記スヘシ但特ニ各目ヲ合セテ簿冊ヲ爲セシモノハ區分ヲ要セス

附 則

第七條 本規程ハ明治二十七年度ヨリ施行ス
(別記)

凡 例

- 一 計算書ヲ授受スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ
- 二 計算書ノ用紙ハ厚質縹沙引美濃紙ヲ用ヒ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明クヘシ
- 三 計算書ハ改描塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横畫シ主任官吏之ニ捺印スヘシ

明治何年度何々(款)
歳入確定額計算書

名 應

確定額	豫算額		ニ比シテノ増減		備考
	増	減	増	減	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	

入定額計算書面之通相違無之候也

主任官氏名印

検査院長宛

年 月 日

摘要	豫算額	
	圓	銭
何々(項)	0	0
何々(目)	0	0
合計	0	0

明治何年度何々(款)

會計檢

○官設鐵道用品資金會計收入證明規程
明治二十七年五月十五日
會計検査院達第一八號

官設鐵道用品資金會計收入證明規程

第一條 官設鐵道用品資金會計規則ニ據リ收入官吏ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ收入計算書現金
出納計算書ハ別記書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 一會計年度中收入官吏ノ交替アリシトキ後任收入官吏ノ證明スヘキ收入計算書ニ於テハ
尙ホ前任收入官吏ヨリ提出スヘキ收入計算書中確定額ハ歳入ヲ確定シタル當該官吏ノ保證ヲ受ケテ

之ヲ提出スヘシ
前任收入官吏ヨリ提出スヘキ收入計算書中確定額ハ歳入ヲ確定シタル當該官吏ノ保證ヲ受ケテ

分任收入官吏交替ノトキハ特ニ其計算書ヲ調製シ證明ヲ爲スコトヲ得但此場合ニ在テハ主任收
入官吏ヲ經由スヘシ

第三條 毎年度歳入確定額ノ内收入未済ニ係ルモノアルトキハ每件其金額事由所屬年度及督促ノ
顛末等ヲ詳記セル收入未済額明細書ヲ調製シ收入計算書ニ添付スヘシ

第四條 現金出納證明上提出スヘキ證憑書類ハ金庫ノ領收證書トス
證憑書類ノ編纂ハ各目ニ區分シ其金員枚數ヲ表記スヘシ但各目ノ枚數僅少ナルトキハ合冊ト爲
スモ妨ケナシ

第五條 下検査官吏ハ計算書類ノ下検査ヲ完了シ翌年度六月二十五日以内ニ其應ヲ發シ之ヲ會計
検査院ニ送付スヘシ

第六條 下検査書ハ計算書毎ニ區分調製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一 計算書明細書若クハ證憑書類ノ件名冊數

二 收入計算書ハ收入簿現金出納計算書ハ現金出納簿ト符合及拂込未済現存額ヲ認メタル保
證但當該下検査官吏ニ於テ事實執行シ難キ場合ニ於テハ他ノ監督ノ任アル官吏ノ保證書
ヲ以テスルコトヲ得

三 事實ニ適合セスト認定セシ事項ノ金額事由

第七條 收入官吏ニ對スル審理書及之ニ對スル報答書ハ總テ下検査官吏ヲ經由スヘシ

第八條 本規程ハ明治二十七年ヨリ施行ス
(別記)

凡 例

- 一 計算書ヲ授受スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ
- 二 計算書ノ用紙ハ厚質縹沙引美濃紙ヲ用ヒ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明クヘシ
- 三 計算書ハ改描塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横畫シ主任官
吏之ニ捺印スヘシ

明治何年度何々(款)

收入計算書

廳 名

收入済額		收入未済額		備 考
圓	錢	圓	錢	
0	0	0	0	
0	0	0	0	
0		0		

(分任收入官吏ノ置キタルトキノ例) 収入濟額區

摘要	(主任收入官吏) 某所氏名		(分任收入官吏) 某所氏名		某所氏名		某所氏名	
	圓	錢	圓	錢	圓	錢	圓	錢
何々(項)	0		0		0		0	
何々(目)	0		0		0		0	
何々	0		0		0		0	
合計	0		0		0		0	
現金領收高	0		0		0		0	

分

某所氏名	計	摘要			確定額		
		前年度收入未済額	本年度確定額	計	前年度收入未済額	本年度確定額	計
圓	錢	圓	錢	圓	錢	圓	錢
0		0		0		0	
0		0		0		0	
0		0		0		0	
0		0		0		0	
0		0		0		0	

領 收 済 額			拂 込 済 額	拂 込 未 済 額	備 考
前年度拂込未済ノ分	本年度分	計			
圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	
0	0	0	0	0	○一年度内ニ交替アリシトキハ後任官吏ノ計算書領收済額中(前年度拂込未済ノ分)ヲ(前任官吏拂込未済ノ分)ト爲スヘシ ○拂込未済額ニシテ後任官吏へ引續テ爲セシモノアルトキハ其事由ヲ備考ニ記載スヘシ
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	

明治何年度何々(款)

現金出納計算書

應 名

明治何年度何々(款)收入計算書面之通
相違無之候也

收入官吏氏名印

會計検査院長宛

年 月 日

(分任收入官吏ヲ置キタルトキノ例) 拂 込 濟

摘 要	(主任收入官吏) 某 氏 所			(分任收入官吏) 某 氏 所			某 所 氏 名		
	圓	錢	厘	圓	錢	厘	圓	錢	厘
何々々(項)									
何々々(目)	0			0			0		
何々々	0			0			0		
合計	0			0			0		
<small>(年度末々ノ主任收入官吏安替ノトキ現 金拂込未済ニ係ルモノアルトキハ此ノ 加テ掲記スヘシ)</small>									
拂込未済額	0			0			0		

額 區 分

某 所 氏 名	某 所 氏 名	計			摘 要
		圓	錢	厘	
					何々々(項)
0	0	0			何々々(目)
0	0	0			何々々
0	0	0			合計
0	0	0			身元保證金
					現金 0
					公債證書額面 0
					土地臺帳登記價格 0
					保證人 氏名
					” 氏名
<small>(分任收入官吏ニ於テ身元保證金ヲ納 付セシモノアルトキハ主任出納官吏 ノ分ト區別記スヘシ)</small>					

明治何年度何々(款)現金出納計算書面之
通相違無之候也

收入官吏氏名印

會計検査院長宛

年 月 日

第二節 支出證明

○支出證明規程 明治二十六年十二月十一日
會計検査院達第二號
支出證明規程左ノ通定ム

第一章 計算書

第一條 會計規則第五十二條第三項ニ據リ仕拂命令官ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ支出計算書ハ
別記書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 毎年度所屬最終支出計算書提出ノ期ニ際シ若シ概算渡現金前渡ノ未精算、領收證書未到

達、科目違、其他過誤拂等ノ處分未済ニ係ルモノアルトキハ別ニ其理由及完結期限ヲ記載セル
書面ヲ添付スヘシ

前項各事項ハ其完結ニ隨ヒ特ニ其報告書ヲ調製シ證書類ヲ添ヘ之ヲ會計検査院ニ提出スヘシ

(茨城縣)照會 明治廿六年十二月十八日

本月十一日御院達第二號ヲ以テ支出證明規程定メラレ候處計算書調製方等疑義ノ廉左ニ

一 會計法第二十三條ニヨリハ誤拂過渡トナル金額ノ返納及出納ノ完結シタル年度ニ屬スル收入等ハ現年度ノ歳入
ニ編入シ定額戻入ノ如ク仕拂額ヨリ差引計算ナナスヘキモノニ無之候處計算書式中現金前渡仕拂命令發行濟額ノ部
本月返納高ノ欄内歳入ヘ納付ノ區設ケアリテ發行高ヨリ歳入納付額ヲ差引計算スヘキモノ、如ク相見候得共右ハ如
何ナル旨趣ニ可有之哉

一 二十七年一月分計算書調製ニ際シ前月迄發行高ノ區ヘハ本年十二月迄會計主務官ニ於テ調定シタル金額ヲ仕拂命令
發行濟額ノ部及現金前渡仕拂命令發行濟額ノ部當該區ヘ分割掲載スヘキ義ナルヤ

一 二十七年一月一日以降ハ金庫所在地外ヘ送金ノ場合ニハ仕拂命令ヲ金庫ニ送付シ右ニ對シ金庫領收證書ヲ徴シ該證
書ヲ以テ支出ノ證據書トナスヘキニ付テハ同日以後領收證書未到達ノ生スヘキ場合無之ト被存候然ルニ領收證書未
到達内譯ノ部ヲ設ケラレタルハ如何ナル場合ナルヤ

一 前項金庫所在地外ヘ送金ノ仕拂命令ニ對シ金庫ヨリ徴スル領收證書ハ單ニ金額仕拂命令番號ヲ記載シアルノミナレ
ハ別ニ算出ノ基ク所ヲ詳悉シタル仕譯書ヲ添付證明セサルヲ得サル義ナレトモ事由ノ簡單ナルモノハ該領收書ヘ債
主氏名並ニ事由ヲ付記シ別ニ仕譯書ヲ添付セサルモ差支ナキヤ

一 會計主務官ヨリハ本月分仕拂内譯書及本月迄ノ支出計算書ヲ從前ノ證明規程ニ依リ調製提出セシムヘキヤ
一 前項提出スヘキモノトセハ證書ノ未到達ニ屬スルモノハ爾後到達ニ從ヒ主務官ニ於テ整理提出セシムヘキ哉或ハ仕
拂命令官ニ於テ引繼テ受同官ヨリ新規程ニヨリ領收證書未到達内譯ノ部ニ掲載整理スヘキヤ

(會計検査院部長)回答 明治二十七年一月十七日

第一項 現金前渡仕拂命令發行濟額ノ部本月返納高ノ欄内歳入納付額ヲ差引計算シアルハ直ニ仕拂計算書ト符合ヲ認
ムルノ便ト爲シタル義ナリ

第二項 意見ノ通り

第三項 支出證明規程第五條ニ據リ正當受取人ノ領收證書ヲ以テ證明スヘキ義ニ付領收證書未到達ノ内譯ヲ要セリ

第四項 前項ノ趣旨ニ據リ自ラ明了ニ歸スヘシ

第五項 意見ノ通り

第六項 前段意見ノ通り

但便宜ノ爲メ仕拂命令官ニ於テ整理スルハ妨ケナシ

第三條

左ノ事項中一項ハ最終支出計算書ニ二項乃至五項ハ毎月支出計算書ノ備考ニ記載スヘシ
但事ノ複雑ニ涉ルモノハ説明書若クハ其所由ヲ確認シ得ヘキ書類ヲ添付スヘシ

一 豫算各目ノ金額及事項ニ増減異動ヲ生シタルトキハ其事由

二 科目更正若クハ定額戻入ヲ爲スヘキモノアルトキハ其金額事由

三 誤拂過渡其他ノ返納ニ由リ歳入ニ編入スヘキモノアルトキハ其金額事由

四 豫備金ヲ以テ補充支辨シタルトキハ其費途金額事由

五 缺損補填ヲ受ケタル費項アルトキハ其金額事由

右ノ外法律命令及計算ノ基ク所ヲ示サレハ明瞭ナラサルモノ其他特殊ノ事項ヲ各其金額事由ヲ掲載スヘシ

第四條

左ノ事項中一項乃至三項ハ最終支出計算書ニ四項乃至六項ハ該費證明ノ月ニ七項ハ其竣功ノ月ニ又繼續工事ニ係ルモノハ其年度内ニ於ケル竣功ノ部分ヲ分チ各其最終支出計算書ニ添付スヘシ

一 當該年度俸給各節仕拂額ヲ局課特ニ指定スルモノノ外局ニ區分セル明細書但年度末日現在セル人員及其官等俸級等ヲ區分セル明細書ノ添付ヲ要ス

二 官舎ニ屬スル經費ヲ支出セシモノアルトキハ每官舎費用各節ヲ區分セル明細書

三 數年度ニ跨ル工事若クハ製造等ニシテ繼續費トシテ總額ヲ定メタルモノアルトキハ其總額、前年度迄支出額、當該年度支出額ヲ區分セル明細書

四 在來ノ物品ヲ建築修繕ニ供用シタルモノハ其種類價格ヲ詳記セル明細書

五 修繕費ニシテ一箇所金貳百圓以上ヲ要セシモノアルトキハ其建造物創設ノ年月、修繕必要ノ理由等ヲ詳記セル明細書

六 恩賞諸祿一時限リ給與ノ分ヲ除クノ支出ニハ其年額、渡期、受領者ノ舊官等又遺族ノ受領ニ係ルモノハ其權利起因ノ人名官等例ヘハ官給ナレハ其夫孤兒ナレハ其父其他受領者ノ轉入轉出權利ノ停止消絶及復給アルトキハ其年月日及事由ヲ詳記セル明細書

七 直營工事ニ屬スル竣功明細書

(統計第一六一七號計課長照會 明治二十七年七月五日)

支出證明規程第四條前段金仕拂證明規程第四條但書本文ノ後段ニ依リ直營工事中繼續工事ニシテ全部竣工ノ次年度ニ涉ルモノハ年度内ニ竣工シタル部分丈ノ明細書ヲ其年度最終ノ計算書ニ添付シ會計検査院ニ提出スヘキ旨ニ付二十六年度末ノ分別紙様式ニ準シ至急御取調該費用仕拂命令官ニ於テ仕拂タル分ハ當課ニ又仕拂官吏ニ於テ仕拂タル分ハ該官吏ニ提出相成度候也

追テ一工事ニシテ仕拂命令官及仕拂官吏雙方ニ於テ各其費用ノ幾部ヲ仕拂タル分ハ仕拂命令官ニ提出スヘキ分ニ御記載相成儀ト御承知相成度候也

考

一 本書ハ支出證明規程第四條前段金仕拂證明規程第四條但書繼續工事ニ係ルモノ

云々作業及鐵道會計支出證明規程第五條中工事ノ次年度ニ涉ルモノ云々ニ據リ

提出スヘキ明細書ニシテ直營工事中年度内ニ一部竣工シ他ノ一部ハ次年度ニ竣

成スヘキ工事ニ限リ記載スヘキモノトス

備

直營工事中何年度内一部竣工明細書

種類	設計ノ員數	年度内竣工ノ歩合	年度内竣工ノ部分ニ對スル費額			
			工費	材料費	雜費	計
何何何	々々々計					

第二章 證憑書類

- 第五條 支出證明上證憑書類トシテ提出スヘキモノハ正當受取人ノ領收證書工事及物件ノ購買借入ニ關スル各種契約書其他事實ノ確實ヲ證スル書類トス
- 第六條 證憑書類ハ原本ニ限ル若シ其原本ヲ提出シ難キ場合ニ於テハ當該官吏ノ保證アル謄本ヲ以テスヘシ
- 第七條 會計規則第八十條第八十一條ニ基キ取結ヒタル金額五百圓以上ノ工事及物件ノ購買借入ニ關スル競争契約書ニハ左ノ書面ヲ添付スヘシ
 - 一 工事若クハ物件必要ノ理由書
 - 二 會計規則第七十四條ニ基キタル公告書但再入札ノ場合ニ於テハ前公告書共
 - 三 落札者其工事又ハ物品供給ニ二年以來從事セル證明書
 - 四 豫定價格調書
 - 五 落札以下三番札迄但再入札ノ場合ニ於テハ前入札最低ノ分共
- 第八條 金額五百圓以上ノ工事及物件ノ購買借入ニ係ル隨意契約書ニハ其工事若クハ物件ノ必要ナル理由及競争契約ニ依ラサリシ理由ノ説明書ヲ添付スヘシ
- 第九條 工事ノ既済部分又ハ物品ノ既納部分ニ對シ完済前ニ代價ノ一部分ヲ仕拂ヒタルトキハ其領收證書ニ會計規則第六十七條第二項ニ據リ検査官吏ノ作リタル調書ヲ添付スヘシ
- 第十條 金額五百圓以上ノ工事竣功シタルトキハ會計規則第六十七條第一項ニ基キ當該官吏ノ作リタル調書ヲ添付スヘシ
- 第十一條 俸給其他給與ニ屬スル支出ニシテ任免黜陟其他缺勤等ノ事故ニ由リ給額ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其事由及年月日ヲ領收證書ニ付記スヘシ

奏判任文官ノ新任者退官賜金ヲ受ル退官者ニ對シテハ其履歷書新任者ニハ尙ホ其資格ヲ認ムヘキ證書等ノ謄本ヲ添付シ轉任昇級者ニ對シテハ各其前級發令ノ年月日ヲ領收證書ニ付記スヘシ仕拂期限ノ定マリタルモノニシテ其期限ニ先ダチ若クハ後レテ支出ヲ爲シタルモノハ其事由ヲ領收證書ニ付記シ又轉任死亡退職等ノ事故ニ由リ支給ヲ止メタルモノアルトキハ其事由ノ報告ヲ要ス

(長崎縣)照會 明治二十七年一月十五日

會計規則第八十二條但書ニ據リ一口五百圓未満ニ係ル各種契約書ハ自今該證書トシテ提出方省略致度差支無之哉又支出證明規程第十一條第三項中支給ヲ止メタルモノハ報告ハ總テ其領收證書ニ付記スル場合無之者ヲノミ要スルモノト相見込候處該報告ハ各目ニ區分セル證憑ノ末尾ニ轉任死亡退職者ノ年月日等掲記添屬シ置ク時ハ別ニ報告書トシテ提出セサルモ差支無之哉

(會計検査院部長)回答 明治二十七年二月八日
前段後段トモ御意見ノ通ニテ可然

(官房財務課)照會 明治二十七年五月九日

支出證明規程第十一條第三項中ノ支給ヲ止メタルモノハ報告方ハ本年二月長崎縣知事ノ照會ニ對シ御回答ノ次第モ有之候處右ハ其證憑書ニ支給ヲ停止シタル事由及年月日等ヲ附記セシメ別ニ報告書等ヲ提出セサル時ハ證明上手數ヲ省略スルノミナラス甚タ利便ト存候間右ニ取扱差支無之哉

(會計検査院)回答 明治廿七年五月十六日
御意見ノ通可然候

第十二條 諸手當其他賞與贈與慰勞金等ハ其領收證書ニ各其事由ヲ詳記シ特例ニ屬スルモノアルトキハ其事由ヲ確認スヘキ當該上官ノ決議書類ヲ添付スヘシ

第十三條 旅費ノ領收證書若クハ精算證書ニハ其用務及旅行ノ日數年月日往復里程宿泊場所ヲ詳記セル明細書ヲ添付スヘシ但領收證書又ハ精算證書ニ掲記シテ明細書ヲ省クコトヲ得

迂路ヲ經テ旅行セシモノ又ハ病氣滯在其他ノ事故ニ由リ公務外日數ヲ要シタルトキ若クハ旅費ノ實費拂又ハ割増ヲ爲シタルトキハ當該上官ノ認許書ヲ添付スヘシ

第十四條 物件購買ニ關スル證憑書ニハ每品ノ種類箇數斤量及單價ヲ掲ケ數箇ニ付價格ヲ定メタルモノハ其箇數ニ對スル價格ヲ示シ又割引ニ係ルモノアルトキハ其旨ヲ記シ該物件所要ノ目的ヲ付記スヘシ

物件購買ニ關スル領收證書ニハ官有財産簿又ハ物品出納簿ニ登記濟ノ年月日ヲ詳記スヘシ但購買ノ際直ニ消費シ物品出納簿ニ登記セサルモノアルトキハ其事由ヲ付記スヘシ

第十五條 諸拂戻缺損補填金ノ領收證書ニハ其決定ヲ達シタル年月日支出ヲ要スル事實ノ生シタル年月日支出ノ請求ヲ爲シタル年月日及支出ヲ要スル事由計算ノ基ク所ヲ詳記セル書類ヲ添付スヘシ

第十六條 誤拂過渡其他ノ事故ニ由リ歳入ヘ納付シタモノアルトキハ當該金庫ノ領收ヲ保證セル書面ヲ以テ之ヲ證明スヘシ

(廣島縣)照會 明治二十七年二月十四日

客年貴院達第二號支出證明規程第十六條ニ據リ提出スル金庫領收保證書ノ儀ハ事務省略ノ爲メ客年大藏省令第三十二號附屬第三號書式及同年同省訓令第四十二號附屬甲號書式ノ通知書ヲ當該官吏ヨリ送付ヲ受ケ之ヲ右保證書ニ代用シ證明候得ハ彼是便宜ノ儀ト存候得共如何可有之哉

(會計検査院部長)回答 明治二十七年二月廿四日(電報)

第十七條 外國文ヲ以テ記載セル證憑書類ハ其譯文、外國貨幣ヲ以テ仕拂タルモノハ其爲換相場及換算調書ヲ添付スヘシ

第十八條 前各條ニ據リ難キ事項ハ適實ノ方法ヲ以テ支出必要ノ事由又ハ其計算ノ基ク所ヲ示シ

事ノ複雑ニ涉ルモノハ明細書ヲ添付シ又臨時特殊ニ係ル事項ハ當該長官ノ命令書又ハ認許書若クハ決議書ヲ添付スヘシ

第十九條 止ムヲ得サル事故ニ依リ正當受取人ノ領收證書ヲ得雖キ場合ニ於テハ其事由ヲ詳記セテ主任官吏ノ任拂書ヲ以テ證明スルコトヲ得

第二十條 概算渡ニ對スル領收證書ハ精算ニ至リ該精算證書ト同時ニ之ヲ提出スヘシ但最終支出計算書提出ノ期ニ際シ尙ホ精算ニ至ラサルモノアルトキハ該支出計算書ニ添付提出ヲ要ス

第二十一條 證憑書類ノ編纂ハ各目ニ區分シ其金員枚數ヲ表記シ若シ概算渡又ハ領收證書ノ未到達ニ係ルモノアルトキハ其金員ヲ付記スヘシ但各目ノ枚數僅少ナルトキハ合冊ト爲スモ妨ケナシ

一 仕拂豫算中ニ係ル支部局ニ屬スル證憑書類ニシテ別冊ト爲セシモノアルトキハ其金額及支部局名ヲ其本廳證書ノ表紙ニ記載スヘシ
集合仕拂命令及金庫所在地外ニ於テ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令集合仕拂命令ニ對スル金庫領收證書ハ各項ニ區分編纂スヘシ

前項ニ關スル支出證憑書類ハ其債主ノ現金領收證書ニ併セ編纂スヘシ
概算渡ニ屬スル領收證書精算證書又ハ未到達ニ係ル領收證書ノ到達セシ分ハ各之ヲ別冊ニ編纂シ月ヲ以テ區別スヘシ

當該年度最終支出計算書提出ノ期ニ際シ尙ホ現金領收證書ノ到達セサルモノアルトキハ右ニ關スル支出證憑書類ハ別ニ之ヲ整理シ該支出計算書ニ添付提出スヘシ
領收證書ニハ仕拂命令ノ番號ヲ付記スヘシ

(兵庫縣)照會 明治二十七年七月二十日

本月二日院達第二十號ヲ以テ支出證明規程追加相成候就テハ本廳ノ如キ二十六二十七兩年度共二十七年五月分迄既ニ證明済ノ處既往ニ遡リ二十六年度ハ二十七年一月一日以降ノ現金領收證書ヲ未到達證書ノ譯ニ仕譯置金庫ノ提出ヲ待テ進達スル義ニ候哉又ハ既往ノ分ハ提出ニ及ハサル義ニ候哉證明上差掛リ候義ニ付電報ヲ以テ至急何分ノ御回答有之候様致度

(會計検査院)回答 明治二十七年七月三十日

既往ニ屬スル分ハ金庫ニ於テ取纏メ一時ニ送付スヘクト存候就テハ更ニ各月ニ分割シテ御提出相成可然尙其際未到達ノモノ有之候ハ其分ニ限リ規程ニ準シ未到達證書仕譯書御提出可有之

(官房財務課)照會 明治二十七年八月二十九日

本年七月貴院達第二號ヲ以テ支出證明規程追加相成候ニ付テハ現金前渡又ハ概算渡ニ對スル現金領收書等ニシテ未到達ノ場合ハ左ニ取扱可然哉
一 證憑書類ハ各目ニ區分編纂スルノ規程ニシテ未到達領收證書モ亦各目ニ區分證明可爲書式ニ有之候處現金前渡ニ對スル證明方ハ項ノ區分ニ止マルニ因リ隨テ領收證書モ内譯ヲ要セス總テ各項ニ區分別冊ニ編纂シ未到達ノモノアルトキハ書式摘要中當該科目ノ未位ニ現金前渡ノ分ト書シ其額ヲ掲ケ證明可然乎

一 概算渡金ニシテ金庫所在地外へ送金ニ係ル領收證書到達前精算了セシ者有之場合ハ精算證書ト同時ニ提出ナシ難キヲ以テ精算證書ノ提出シ概算渡領收證書ハ未到達トシ書式摘要中當該科目ノ次位ニ特ニ概算渡ノ分ト書シ當初支出ノ月未到達ノ欄へ追記シ到達ノ上ハ他ノ未到達證書ト區分シ概算渡未到達領收證書表記シ別冊ニ編纂提出可然哉
(會計検査院)回答 明治二十七年九月八日

右ハ二領共御來意之通ニテ可然儀ト存候

附 則

第二十二條 本規程ハ明治二十七年一月一日ヨリ施行ス
(別記)

旅費概算渡内譯

精 算 高			未精算高	備 考
支 出	定額戻入	計		
圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	
0	0	0	100.00 0	○精算残金ノ繰入へ納付セシモノアルトキハ精算高ノ區中繰入納付ノ一區ヲ設ケ編入スヘシ
40.00 0	10.00 0	50.00 0	0	
0	50.00 0	50.00 0	0	
50.00 0	0	50.00 0	0	
30.00 0	10.00 0	40.00 0	10.00 0	
120.00 0	70.00 0	190.00 0	110.00 0	
(後月分ノ例)				
50.00 0	20.00 0	70.00 0	30.00 0	
0	0	0	10.00 0	
20.00 0	10.00 0	30.00 0	70.00 0	
70.00 0	30.00 0	100.00 0	110.00 0	

現 金 領

摘 要	四 月 分	
	前月越高	本月到 高
經常部		
何々(款)		
何々(項)		
何々(目)	5.00 0	5.00 0
何々	0	0
何々	5.00 0	5.00 0
項 計	10.00 0	10.00 0
何々		
何々	0	0
何々	0	0
項 計	0	0
款 合 計	10.00 0	10.00 0

收 證 書 未 到 達 内 譯

月 分	五 月 分			六 月 分			七 月 分
	本月到 高	未到達高	前月越高	本月到 高	未到達高	前月越高	
本月到 高	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘
未到達高							
前月越高							
本月到 高	5.00 0	0	1.00 0	1.00 0	0	5.00 0	2.00 0
未到達高	0	0	5.00 0	3.00 0	2.00 0	0	0
前月越高	5.00 0	0	0	0	0	3.00 0	3.00 0
項 計	10.00 0	0	6.00 0	4.00 0	2.00 0	8.00 0	5.00 0
何々							
何々	0	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0	0
項 計	0	0	0	0	0	0	0
款 合 計	10.00 0	0	6.00 0	4.00 0	2.00 0	8.00 0	5.00 0

仕 拂 命 令 發 行 濟 額								
摘 要	前月迄 發行高		本月發 行 高		本月戻 入 高		計	備 考
	圓	銭	圓	銭	圓	銭		
經 常 部								
何々(款)								
俸給及諸給								
勸任俸給	0		0		0		0	
奏任俸給	0		0		0		0	
何々	0		0		0		0	
項合計	0		0		0		0	
應 費								
備品費	0		0		0		0	
圖書及印刷費	0		0		0		0	
何々	0		0		0		0	
項合計	0		0		0		0	
何々								
何々	0		0		0		0	
何々	0		0		0		0	
項合計	0		0		0		0	
何々(款)合計	0		0		0		0	

仕 拂 命 令 發 行 濟 額								
摘 要	前月迄 發行高		本月發行高		本月戻入高		計	備 考
	圓	銭	圓	銭	圓	銭		
臨 時 部								
何々(款)								
(以下經常部=同シ)								

○此仕拂命令發行濟額ハ現金前渡ノ分ヲ除ク

括

摘要	仕拂命令 發行高		翌年度 繰越高		豫算 不用高		計		備考
	圓	銭	圓	銭	圓	銭	圓	銭	
經常部									増事シリ流タ ノノ要ヨハシ 圓々チ々又ナ 何額何圓チ 若干増付若干 若ハ増付若干 アルテニ若干 ニルニ若干 加由タ増用ル 豫算ニ若干 算アルテニ若干 加由タ増用ル 豫算ニ若干
何々(款)									
俸給及請給									
給給給	0		0		0		0		
俸俸俸	0		0		0		0		
任任任	0		0		0		0		
勅奏列何	0		0		0		0		
項合計	0		0		0		0		
何々									
何々	0		0		0		0		
何々	0		0		0		0		
項合計	0		0		0		0		
何々(款)合計	0		0		0		0		
臨時部 (經常部=同シ)									

○此總括ハ毎年度最終即チ仕拂命令發行最終月ノ證明ニ於テ提出スルモノトス

總

前年度繰越 豫算	本年度 豫算		増		減		計	
	圓	銭	圓	銭	圓	銭	圓	銭
0		0		0		0		0
0		0		0		0		0
0		0		0		0		0
0		0		0		0		0
0		0		0		0		0
0		0		0		0		0
0		0		0		0		0
0		0		0		0		0
0		0		0		0		0

凡例

- 一 計算書ヲ受授スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ
- 二 計算書ノ用紙ハ厚質縹沙引美濃紙ヲ用非左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明クヘシ
- 三 計算書ハ改描塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横畫シ主任官吏之ニ捺印スヘシ
- 四 一仕拂命令官ニシテ彼所管經費ノ仕拂命令ヲ掌ルモノハ其計算書ハ所管毎ニ別冊トナスヘシ但シ大藏省所管中國債費恩貸諸課内國徵稅費諸拂戻及缺損補填金ハ各別ニ調製スヘシ

明治何年度
何年何月
歳出經常部
何々(款)何々(款)
歳出臨時部
何々(款)何々(款)
支出計算書
某 應

○現金前渡金仕拂證明規程 明治二十六年十二月十一日
 現金前渡金仕拂證明規程左ノ通定ム
 會計検査院達第三號

現金前渡金仕拂證明規程

第一章 計算書

- 第一條 會計規則第九十八條ニ據リ現金前渡ヲ受ケタル官吏ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ仕拂計算書ハ別記書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第二條 現金前渡ヲ受タル官吏ニシテ交替アリシトキハ後任官吏ノ證明スヘキ仕拂計算書ニ於テハ尙ホ前任官吏ノ計算額ヲ併算スヘシ
- 第三條 左ノ事項ハ仕拂計算書ノ備考ニ記載スヘシ但事ノ複雑ニ涉ルモノハ説明書若クハ其所由ヲ確認シ得ヘキ書類ヲ添付スヘシ
 - 一 科目更正ヲ爲シタルモノアルトキハ其金額事由

- 二 過誤拂金ノ還納ヲ爲サシムヘキモノアルトキハ其金額事由
 - 三 會計規則第八十八條ニ據リ各省大臣ヨリ損失金ノ辨償ヲ命セラレタルトキハ其金額事由
 - 四 缺損補填ヲ受タル費項アルトキハ其金額事由
 - 五 後任官吏ニ於テ前任官吏ヨリ現金ノ引繼ヲ受タルモノアルトキハ其金額事由
- 右ノ外法律命令及計算ノ基ク所ヲ示サレハ明瞭ナラサルモノ其他特殊ノ事項ハ各其金額事由ヲ掲載スヘシ

第四條 左ニ掲クル書類ハ各其仕拂計算書ニ添付スヘシ但第四項ハ其竣工ノ月又繼續工事ニ係ルモノハ其年度内ニ於ケル竣工ノ部分ヲ分チ各其年度最終ノ仕拂計算書ニ添付スヘシ

- 一 概算渡ノ未精算ニ屬スルモノアルトキハ各其當初交付ノ年月日及概算渡高、精算高未精算高並其事由ヲ詳記セル明細書
- 二 在來ノ物品ヲ建築修繕ニ供用シタルモノハ其種類價格ヲ詳記セル明細書
- 三 修繕費ニシテ一箇所金貳百圓以上ヲ要セシモノアルトキハ其建造物創設ノ年月、修繕必要ノ理由等ヲ詳記セル明細書
- 四 直營工事ニ屬スル竣工明細書

第二章 證憑書類

- 第五條 仕拂證明上證憑書類トシテ提出スヘキモノハ正當受取人ノ領收證書工事及物件ノ購買借入ニ關スル各種契約書其他事實ノ確實ヲ證スル書類トス
- 第六條 憑證書類ハ原本ニ限ル若シ其原本ヲ提出シ難キ場合ニ於テハ當該官吏ノ保證アル謄本ヲ以テスヘシ
- 第七條 會計規則第八十條第八十一條ニ基キ取結ヒタル金額五百圓以上ノ工事及物件ノ購買借入

ニ關スル競争契約書ニハ左ノ書面ヲ添付スヘシ

一 工事若クハ物件必要ノ理由書

二 會計規則第七十四條ニ基キタル公告書但再入札ノ場合ニ於テハ前公告書共

三 落札者其工事又ハ物品供給ニ二年以來從事セル證明書

四 豫定價格調書

五 落札以下三番札迄但再入札ノ場合ニ於テハ前入札最低ノ分共

第八條 金額五百圓以上ノ工事及物件ノ購買借入ニ係ル隨意契約書ニハ其工事若クハ物件ノ必要ナル理由及競争契約ニ依ラサリシ理由ノ説明書ヲ添付スヘシ

第九條 工事ノ既濟部分又ハ物品ノ既納部分ニ對シ完濟前ニ代價ノ一部分ヲ仕拂タルトキハ其領收證書ニ會計規則第六十七條第二項ニ據リ検査官吏ノ作リタル調書ヲ添付スヘシ

第十條 金額五百圓以上ノ工事竣功シタルトキハ會計規則第六十七條第一項ニ基キ當該官吏ノ作リタル調書ヲ添付スヘシ

第十一條 俸給其他給與ニ屬スル仕拂ニシテ任免黜陟其他缺勤等ノ事故ニ依リ給額ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其事由及年月日ヲ領收證書ニ付記スヘシ

奏判任文官ノ新任者退官賜金ヲ受ル退官者ニ對シテハ其履歷書新任者ニハ尙ホ其資格ヲ認ムヘキ證書等ノ謄本ヲ添付シ轉任昇級者ニ對テハ各其前級發令ノ年月日ヲ領收證書ニ付記スヘシ

仕拂期限ノ定リタルモノニシテ其期限ニ先タチ又ハ後レテ仕拂ヲ爲シタルモノハ其事由ヲ領收證書ニ付記シ又轉任死亡退職等ノ事故ニ依リ支給ヲ止メタルモノアルトキハ其事由ノ報告ヲ要ス

第十二條 諸手當其他賞與贈與慰勞金等ハ其領收證書ニ各其事由ヲ詳記シ特例ニ屬スルモノアル

トキハ其事由ヲ確認スヘキ當該上官ノ決議書類ヲ添付スヘシ

第十三條 旅費ノ領收證書若クハ其精算證書ニハ其用務及旅行ノ日數年月日往復里程宿泊場所ヲ詳記セル明細書ヲ添付スヘシ但領收證書又ハ精算證書ニ掲記シテ明細書ヲ省クコトヲ得

迂路ヲ經テ旅行セシモノ又ハ病氣滯在其他ノ事故ニ由リ公務外日數ヲ要シタルトキ若クハ旅費ノ實費拂又ハ割増ヲ爲シタルトキハ當該上官ノ認許書ヲ添付スヘシ

第十四條 物件購買ニ關スル證書ニハ每品ノ種類箇數斤量及單價ヲ掲ケ數箇ニ付價格ヲ定メタルモノハ其數箇ニ對スル價格ヲ示シ又割引ニ係ルモノアルトキハ其旨ヲ記シ該物件所要ノ目的ヲ付記スヘシ

物件購買ニ關スル領收證書ニハ官有財産簿又ハ物品出納簿ニ登記濟ノ年月日ヲ詳記スヘシ但購買ノ際直ニ消費シ物品出納簿ニ登記セサルモノアルトキハ其事由ヲ付記スヘシ

第十五條 外國文ヲ以テ記載シタル證書書類ハ其譯文外國貨幣ヲ以テ仕拂タルモノハ其爲換相庭及換算調書ヲ添付スヘシ

第十六條 前各條ニ據リ難キ事項ハ適實ノ方法ヲ以テ仕拂ノ必要ナル事由又ハ其計算ノ基ク所ヲ示シ事ノ複雜ニ涉ルモノハ明細書ヲ添付シ臨時特殊ニ係ル事項ハ當該上官ノ命令書認許書又ハ決議書ヲ添付スヘシ

第十七條 止ムル得サル事故ニ依リ正當受取人ノ領收證書ヲ得難キ場合ニ於テハ其事由ヲ詳記セル仕拂書ニ當該上官ノ認定ヲ受ケテ之ヲ證明スルコトヲ得

第十八條 概算渡ニ對スル領收證書ハ精算ニ至リ該精算證書ト同時ニ之ヲ提出スヘシ

但翌年度六月分仕拂計算書提出ノ期ニ際シ尙ホ精算ニ至ラサルモノアルトキハ該仕拂計算書ニ添付提出ヲ要ス

ニ添付提出ヲ要ス

第十九條 證憑書類ノ編纂ハ各目ニ區分シ其金員枚數ヲ表記シ若シ領收證書ノ未到達ニ係ルモノアルトキハ其金員ヲ付記スヘシ但各目ノ枚數僅少ナルトキハ合冊ト爲スモ妨ケナシ
 分任出納官吏ノ證憑書類ハ各別ニ編纂シ其表紙ニ當該官吏官氏名ヲ掲記シテ之ニ捺印シ主任出納官吏ノ證憑書表紙ニハ各分任出納官吏ノ取扱金額及其官氏名ヲ區分掲載スヘシ
 未到達ニ係ル領收證書ノ到達セシ分ハ之ヲ別冊ニ編纂シ月ヲ以テ區分スヘシ

第三章 下検査

第二十條 下検査官吏ニ於テ仕拂計算書類ヲ受ケタルトキハ其受領ノ日ヨリ十五日以内ニ下検査ヲ完了シ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ

第二十一條 下検査書ハ計算書毎ニ區分調製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 計算書明細書其他證憑書類ノ件名冊數
 - 二 仕拂計算書ト現金出納簿トノ符合及其現存額ヲ認メタル保證但當該下検査官吏ニテ事實執行シ難キ場合ニ於テハ他ノ監督ノ任アル官吏ノ保證書ヲ以テスルコトヲ得
 - 三 事實適合セスト認定セシ事項ノ事由金額
 - 四 證憑書類中検査終了ノ上返付ヲ要スル書類ノ件名冊數
- 第二十二條 現金前渡ヲ受タル官吏ニ對スル審理書及之ニ對スル報答書ハ總テ下検査官吏ヲ經由スヘシ

附則

第二十三條 本規定ハ明治二十七年一月一日ヨリ施行ス

仕 拂 精 算 高			返 納 高	残 高	備 考
前 月 算	本 月 算	計			
0	0	0	0	0	<p>○殘高中概算渡ヲ爲シタルモノ若クハ後任官吏へ引繼キ爲シタルモノアルトキハ備考ニ於テ其金額ヲ區分説明スヘシ</p> <p>○精算證明ノ後過誤拂金ノ還納ヲ爲サシメタルモノアルトキハ其領收ヲ爲セシ月ノ仕拂計算書ニ於テ前月迄精算高ノ内ヨリ該金額ヲ扣除シ備考ニ其事由ヲ記載スヘシ</p> <p>○身元保證金ハ當初提出スヘキ仕拂計算書ニ式ノ如ク其納付済員額ヲ掲記シ嗣後異動ノ生シタル場合ニハ員額事由ヲ其月ノ仕拂計算書ニ掲記シ異動ナキトキハ其旨ヲ付記スヘシ</p> <p>○分任出納官吏ニ於テ身元保證金ヲ納付セシモノアルトキハ主任出納官吏ノ分ト區分掲記スヘシ</p>
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	

明治何年度何年何月(自何月日至何月日)仕拂計算書面之
 通相違無之候也

現金前渡ヲ受クル官吏ノ官氏名印
 會計検査院長宛
 年 月 日

明治何年度何々(款)

何年何月(自何月日至何月日)

仕 拂 計 算 書

廳 名

凡授受ノ用紙ハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ
 一 計算書ノ用紙ハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ
 二 計算書ノ用紙ハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ
 三 計算書ノ用紙ハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ

元		受		高	
前月迄領收高	本月領收高	計	計	計	計
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0

摘要

何々(款)
 何々(項)
 何々(目)
 何々
 何々

項合計
 何々
 何々

項合計
 何々

款合計
 (分任出納官吏ヲ置キトキ主任出納官吏ノ計算書ニハ其總計ニ此内譯ヲ付スヘシ)
 (主任) 何官某取扱ノ分
 (分任) 何官某 〇
 〇 何官某 〇

身元保証金
 現金 150,000
 土地証券登記價格 200,000
 公債證券額面 500,000

保証人 氏名
 〇 氏名

○作業及鐵道會計規則ニ據ル現金前渡官吏ノ計算書ハ現金前渡仕拂證明規程ノ例ニ依ル
明治二十七年二月十二日 會計検査院達第七號

作業及鐵道會計規則鎮守府造船材料資金會計規則官立學校及圖書館會計規則ニ據リ現金前渡ヲ受ケタル官吏ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ仕拂計算書ハ現金前渡仕拂證明規程ノ例ニ據ル

(神戸出納事務所子書記) 明治二十七年五月十九日 神支甲第九三號

- 一 乙第九四六號ヲ以テ現金前渡官吏引切符發行後金庫ニ仕拂ノ請求ナクシテ無効トナリタルモノニ對シ會計検査院ヘ證明方御通達ノ趣モ有之候處右御通達ノ當時ニ於ケル仕拂計算書ハ本年二月検査院達第七號ニ依リ改正相成候ニ付右ノ場合ニ於テハ前月迄精算高ヨリ扣除シ其事由ヲ備考ニ記載シ可然候
- 一 受取人ヨリ書換ノ請求アリテ再發行ヲ爲シタル時ノ證憑書ハ計算書中本月精算高ノ金額ニ對シ差違ヲ生シ候モ前項計算書備考ニ記載シアリテ判明可致ニ付不足ノ儘ニテ差出シ可然候又ハ前月ノ證憑書提出前ナルキハ其事由ヲ該證憑書ニ付録シ置クヘキヤ或ハ引切符再發行ノ月ニ於テ仕拂官吏ヨリ「本證書ハ前月何般證憑書何葉ニアリ」ト證明シ可然候

(會計課長) 答示 明治二十七年五月二十三日 鐵計第二〇一四號

- 一 引切符無効トナリ翌月ニ於テ金庫ヨリ無効トナリタル案内切符ノ返付アリ現金出納簿ヲ取消タルキハ會計検査院ヘ證明スヘキ仕拂計算書ハ前月迄精算高ヨリ扣除シ其事由ヲ備考ニ記載相成候ハ、可然候
 - 一 受取人ヨリ無効トナリタル引切符ノ書換請求アリテ再發行ヲ爲シタルキハ再發行ノ月ニ於テ仕拂官吏ハ金額事由ヲ詳記セル證明書ヲ作リ之レニ最前提出シタル領收證書ノ寫ヲ添付證明相成候ハ、可然候
- 追テ前月ノ證憑書提出前ナルモ該證書ニ付録ナサズ本項ニ據リ御證明相成可然候爲念申添候也

○官設鐵道用品資金所屬物品出納證明規程明治廿七年十二月十五日 (本規程ハ物品)
 ○歳入歳出外現金出納證明規程明治二十四年三月九日 會計検査院達第二九號

明治二十三年勅令第三十五號ニ據リ歳入歳出外現金出納證明規程左ノ通定ム

歳入歳出外現金出納證明規程

- 第一條 明治二十三年勅令第三十五號ニ據リ出納官吏ノ證明スヘキ歳入歳出外現金出納計算書ハ左ノ書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
 - 第二條 出納證明上證憑書類トシテ提出スヘキモノ左ノ如シ
 - 一 受入金ニ對シテハ命令書又ハ決議書
 - 二 仕拂金ニ對シテハ正當受取人ノ領收證書
 - 第三條 前條ノ證憑書類ハ受入仕拂ニ大別シ計算書ニ掲ケル事項毎ニ區分編纂シ其表紙ニ金額ノ合計及證憑書ノ枚數ヲ記載スヘシ但一事項ノ證憑書僅少ナルモノハ合算スルモ妨ケナシ
 - 第四條 下検査官吏ハ計算書及證憑書類ノ下検査ヲ完了シ翌年度六月二十五日以内ニ其廳ヲ發シ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ
 - 第五條 下検査書ハ計算書毎ニ區分調製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ
 - 一 計算書及證憑書類ノ件名冊數
 - 二 現金出納計算書ト出納帳簿及計算書ノ殘額ト現存額トノ符合ヲ認メタル保證但當該下検査官吏ニテ事實執行シ難キ場合ニ於テハ他ノ監督ノ任アル官吏ノ保證書ヲ以テスルコトヲ得
 - 四 事實ニ適合セスト認定セシ事項ノ理由及金額
- 第六條 證憑書類中必要ノモノニシテ検査終了ノ上返付ヲ要スルモノアキハ其提出ノ際之ヲ會計検査院ニ請求スヘシ
- 第七條 歳入歳出外現金出納ノ證明ニ關スル審理書又ハ其報告書ハ總テ下検査官吏ヲ經由スヘシ

<p>明治何年度</p> <hr/> <p>歳入歳出外現金出納計算書</p> <p style="text-align: center;">何 應</p>
--

○作業及鐵道會計支出證明規程 明治二十六年十二月二十八日
 會計検査院達第五號

作業及鐵道會計支出證明規程

第一章 計算書

第一條 作業及鐵道會計規則第九條第三項ニ據リ作業事務長又ハ作業支部局長ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ支出計算書ハ別記書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 年度末支出計算書提出ノ期ニ際シ若シ概算渡ノ未精算、領收證書未到達、科目違、其他過誤拂等ノ處分未済ニ係ルモノアルトキハ別ニ其理由及完結期限ヲ記載セル書面ヲ添付スヘシ

前項各事項ハ其完結ニ隨ヒ特ニ其報告書ヲ調製シ證書類ヲ添ヘ之ヲ會計検査院ニ提出スヘシ

第三條 左ニ掲ル書類ハ作業事務長ノ提出スル年度末支出計算書ニ添付スヘシ

- 一 總受拂勘定表
 - 但物品會計官吏毎ニ區分セル各種物品價格受拂仕譯書ノ添付ヲ要ス
 - 二 當該年度末日作業計算表
 - 三 固定資本價格増減表
 - 但該資本ニ屬スル物件ノ價格ヲ改定シタルモノアルトキハ其計算ノ基ク所ヲ確認シ得ヘキ明細書ノ添付ヲ要ス
 - 四 材料素品機械運轉用品中市價ノ低落又ハ毀損變質等ニ由リ其價格ヲ減シ年度末ニ於テ價格ヲ改定シタルモノアルトキハ每件其事由及市價ノ確認シ得ヘキ明細書
 - 五 生産品中需用ノ變動生産法ノ改良又ハ毀損變質等ニ由リ年度末ニ於テ價格ヲ改定シタルモノアルトキハ每件其事由及當時ノ市價又ハ當年度ノ生産費ヲ確認シ得ヘキ明細書
 - 六 材料素品機械運轉用品生産品等ノ不用物品ニ組入レタルモノニ對スル每件事由明細書
- 第四條 左ノ事項中一項ハ年度末支出計算書ニ二項乃至五項ハ毎月支出計算書ノ備考ニ記載スヘシ但事ノ複雜ニ涉ルモノハ説明書若クハ其所由ヲ確認シ得ヘキ書類ヲ添付スヘシ
- 一 豫算各目ノ金額及事項ニ増減異動ヲ生シタルトキハ其事由
 - 二 科目更正若クハ定額戻入ヲ爲スヘキモノアルトキハ其金額事由
 - 三 誤拂過渡其他ノ返納ニ依リ作業歳入ニ編入スヘキモノアルトキハ其金額事由
 - 四 豫備費ヲ以テ補充支辨シタルトキハ其金額事由
 - 五 益金ニシテ一般歳入ヘ納付セシモノアルトキハ其金額事由

右ノ外法律命令及計算ノ基ク所ヲ示サ、レハ明瞭ナラサルモノ其他特殊ノ事項ハ各其金額事由ヲ掲載スヘシ

第五條 左ノ事項中一項乃至四項ハ年度末支出計算書ニ五項六項ハ該費證明ノ月ニ七項ハ其竣功ノ月ニ又工事ノ次年度ニ渉ルモノハ其年度内ニ於ケル竣功ノ部分ヲ分テ年度末支出計算書ニ添付スヘシ

- 一 當該年度俸給各節仕拂額ヲ各局課特ニ指定スルモノハ外局ニ區分セル明細書
但年度末日現在セル人員及其官等級俸ヲ區分セル明細書ヲ添付ヲ要ス
- 二 固定資本ニ屬スル物件ニシテ修理若クハ補充ヲ爲セシモノアルトキハ每件其種類金額ヲ詳記セル明細書
- 三 支出未済額ノ翌年度へ繰越タルモノアルトキハ每件其事由金額ヲ詳記セル明細書
- 四 官舎ニ屬スル經費ヲ支出セシモノアルトキハ每官舎費用各節ヲ區分セル明細書
- 五 在來物品ヲ建築修繕ニ供用シタルモノハ其種類價格ヲ詳記セル明細書
- 六 修繕費ニシテ一箇所金貳百圓以上ヲ要セシモノアルトキハ其建造物創設ノ年月、修繕必要ノ理由等ヲ詳記セル明細書
- 七 直營工事ニ屬スル竣功明細書

第二章 證憑書類

第六條 支出證明上證憑書類トシテ提出スヘキモノハ正當受取人ノ領收證書工事及物件ノ購買借入ニ關スル各種契約書其他事實ノ確實ヲ證スル書類トス

第七條 證憑書類ハ原本ニ限ル若シ其原本ヲ提出シ難キ場合ニ於テハ當該官吏ノ保證アル謄本ヲ以テスヘシ

第八條 會計規則第八十條第八十一條ニ基キ取結ヒタル金額五百圓以上ノ工事及物件ノ購買借入ニ關スル競争契約書ニハ左ノ書面ヲ添付スヘシ

- 一 工事若クハ物件必要ノ理由書
- 二 會計規則第七十四條ニ基キタル公告書但再入札ノ場合ニ於テハ前公告書共
- 三 落札者其工事又ハ物品供給ニ二年以來從事セル證明書
- 四 豫定價格調書
- 五 落札以下三番札迄但再入札ノ場合ニ於テハ前入札最低ノ分共

第九條 金額五百圓以上ノ工事及物件ノ購買借入ニ係ル隨意契約書ニハ其工事若クハ物件ノ必要ナル理由及競争契約ニ依ラサリシ理由ノ説明書ヲ添付スヘシ

第十條 工事ノ既濟部分又ハ物品ノ既納部分ニ對シ完済前ニ代價ノ一部分ヲ仕拂タルトキハ其領收證書ニ會計規則第六十七條第二項ニ據リ検査官吏ノ作リタル調書ヲ添付スヘシ

第十一條 金額五百圓以上ノ工事竣功シタルトキハ會計規則第六十七條第一項ニ基キ當該官吏ノ作リタル調書ヲ添付スヘシ

第十二條 俸給其他給與ニ屬スル支出ニシテ任免黜陟其他缺勤等ノ事故ニ由リ給額ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其事由及年月日ヲ領收證書ニ付記スヘシ

奏判任文官ノ新任者退官賜金ヲ受クル退官者ニ對シハ其履歷書新任者ニハ尙ホ其資格ヲ認ムヘキ證書等ノ謄本ヲ添付シ轉任昇級者ニ對シテハ各其前級發令ノ年月日ヲ領收證書ニ付記スヘシ
仕拂期限ノ定リタルモノニシテ其期限ニ先チ若クハ後レテ支出ヲ爲シタルモノハ其事由ヲ領收證書ニ付記シ又轉任死亡退職等ノ事故ニ由リ支給ヲ止メタルモノアルハ其事由ノ報告ヲ要ス
第十三條 諸手當其他賞與贈與慰勞金等ハ其領收證書ニ各其事由ヲ詳記シ特例ニ屬スルモノアル

トキハ其事由ヲ確認スヘキ當該上官ノ決議書類ヲ添付スヘシ

第十四條 旅費ノ領收證書若クハ精算證書ニハ其用務及旅行ノ日數年月日往復里程宿泊場所ヲ詳記セル明細書ヲ添付スヘシ但領收證書又ハ精算證書ニ掲記シテ明細書ヲ省クコトヲ得

迂路ヲ經テ旅行セシモノ又ハ病氣滯在其他ノ事故ニ由リ公務外日數ヲ要シタルトキ若クハ旅費ノ實費拂又ハ割増ヲ爲シタルトキハ當該上官ノ認許書ヲ添付スヘシ

第十五條 物件購買ニ關スル證書ニハ每品ノ種類個數斤量及單價ヲ掲ケ數箇ニ付價格ヲ定メタルモノハ其箇數ニ對スル價ヲ格示シ又割引ニ係ルモノアルトキハ其旨ヲ示シ該物件所要ノ目的ヲ付記スヘシ

物件購買ニ關スル領收證書ニハ官有財産簿又ハ物品出納簿ニ登記濟ノ年月日ヲ詳記スヘシ但購買ノ際直ニ消費シ物品出納簿ニ登記セサルモノアルトキハ其事由ヲ付記スヘシ

第十六條 外國文ヲ以テ記載シタル證書書類ハ其譯文外國貨幣ヲ以テ仕拂タルモノハ其爲替相庭及換算調書ヲ添付スヘシ

第十七條 前各條ニ據リ難キ事項ハ適實ノ方法ヲ以テ支出必要ノ事由又ハ其計算ノ基ク所ヲ示シ事ノ複雜ニ涉ルモノハ明細書ヲ添付シ又臨時特殊ニ係ル事項ハ當該長官ノ命令書又ハ認許書若クハ決議書ヲ添付スヘシ

第十八條 止ムヲ得サル事故ニ由リ正當受取人ノ領收證書ヲ得難キ場合ニ於テハ其事由ヲ詳記セル主任官吏ノ仕拂書ヲ以テ證明スルコトヲ得

第十九條 概算渡ニ對スル領收證書ハ精算ニ至リ該精算證書ト同時ニ之ヲ提出スヘシ但年度末支出計算書提出ノ期ニ際シ尙ホ精算ニ至ラサルモノアルトキハ該支出計算書ニ添付提出ヲ要ス

第二十條 證書書類ノ編纂ハ各目ニ區分シ其金員枚數ヲ表記シ若シ概算渡又ハ領收證書ノ未到達

ニ係ルモノアルトキハ其金員ヲ付記スヘシ但各目ノ枚數僅少ナルトキハ合冊ト爲スモ妨ケナシ

一 仕拂豫算中ニ係ル支部局ニ屬スル證書書類ニシテ別冊トナセシモノアルトキハ其金額及

支部局名ヲ其本應證書ノ表紙ニ記載スヘシ
集合仕拂請求書及金庫所在地外ニ於テ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂請求書、集合仕拂請求

書ニ對スル金庫領收書ハ各項ニ區分編纂スヘシ
前項ニ關スル支出證書書類ハ其債主ノ現金領收證書ニ併セ編纂スヘシ

概算渡ニ屬スル領收證書精算證書又ハ未到達ニ係ル領收證書ノ到達セシ分ハ各之ヲ別冊ニ編纂シ月ヲ以テ區別スヘシ

當該年度最終支出計算書提出ノ期ニ際シ尙ホ現金領收證書ノ到達セサルモノアルトキハ右ニ關スル支出證書書類ハ別ニ之ヲ整理シ該支出計算書ニ添付提出スヘシ

領收證書ニハ仕拂請求書ノ番號ヲ付記スヘシ

附則

第二十一條 本規程ハ明治二十七年一月一日ヨリ施行ス
(別記)

科目更正 返納金		金額	
摘要		圓	銭
<u>科目更正</u>			
何々々(項)			
何々々(目)			
何月分仕拂請求書第何號何某渡金若干圓何科目ヲ以テ整理ノ處何々ニ依リ本科目ニ更正セリ		0	
計		0	
<u>返納金</u>			
何々々			
何々々			
何月分仕拂請求書第何號何某渡ノ内何々ニヨリ誤拂ヲナシタルニ付何年度作業歳入トシテ納入セリ		0	
計		0	
<u>定額戻入</u>			
何々々			
何々々			
何月分仕拂請求書第何號何官何級俸何某渡ノ内何月日何廳何官ニ轉任セシニ付何日分俸給過渡返納ノ分定額へ戻入セリ		0	
計		0	

定額戻入 内詳		金額	
摘要		圓	銭
明治何年度何年何月支出計算書 面之通相違無之候也			
作業事務長 (作業支部局長) 官氏名印			
會計検査院長宛			
年 月 日			

現金領收證書

摘要	四月分			五月	
	前月越高	本月到達高	未到達高	前月越高	本月到達高
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
何々(款)					
何々(項)					
何々(目)	500 0	500 0	0	100 0	100 0
何々	0	0	0	500 0	300 0
何々	500 0	500 0	0	0	0
項計	1000 0	0	0	600 0	400 0
何々					
何々	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0
項計	0	0	0	0	0
款合計	1000 0	1000 0	0	600 0	400 0

未到達内譯

分	六月分			七月分		
	前月越高	本月到達高	未到達高	前月越高	本月到達高	未到達高
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
未到達高						
	0	500 0	200 0	300 0	0	1000 0
	200 0	0	0	0	0	0
	0	300 0	300 0	0	0	200 0
	200 0	800 0	500 0	300 0	0	1200 0
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	200 0	800 0	500 0	300 0	0	1200 0

<p>明治何年度</p> <p>何年何月</p> <p>何々(款)何々(款)</p> <p>支出計算書</p>	
<p>三 二 一</p> <p>要計算スルトキハ改換シテ二線ヲ横書シ主任官吏之ニ捺印スヘシ</p> <p>計算書ノ用紙ハ厚質紙ヲ用ニ非左側ニ曲尺</p> <p>裁スヘシ</p> <p>計算書ノ綴リハ明クヘシ</p> <p>計算書ノ改換ハ改換シテ二線ヲ横書シ主任官吏之ニ捺印スヘシ</p>	<p>凡例</p> <p>凡其年月日ヲ各自該表紙ニ記</p> <p>スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記</p> <p>スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記</p> <p>スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記</p>
<p>應</p>	<p>名</p>

總									
摘要	預算			高			仕拂請求 書發行高	翌年度 繰越高	預算 不用高
	前年度 繰越	本年度 豫算	計	増	減	計			
何々(款)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
何々(項)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
何々(目)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0	0	0	0
項合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0	0	0	0
何々	0	0	0	0	0	0	0	0	0
項合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
款合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(會計検査院長)照會 明治二十六年十二月二十日 送第二六九八號

今般本院達第二號ヲ以テ支出證明規程相定候ニ付テハ會計規則第五十二條第三項ニ據リ各任拂命令官ヨリ貴省又ハ特ニ監督ノ任アル官吏若クハ特ニ委任セラレタル官吏ヘ送付セル支出豫算書ハ總テ同月中チ期シ其總チ發シ本院ニ送付相成度若シ運輸不便土地遠隔等ノ爲メ該期限ニ依リ難キモノ有之候ハ豫メ御協議相成度此段及御照會候也

(會計検査院長)照會 明治二十七年三月八日 送第三五七號

作業及鐵道會計規則ニ據リ作業事務長又ハ作業支部局長ヨリ貴省又ハ特ニ監督ノ任アル官吏若クハ特ニ委任セラレタル官吏ニ送付セル支出計算書ハ總テ同月中歲入確定額計算書ハ翌年度六月中チ期シ其總チ發シ本院ニ御送付相成度若シ運輸不便土地遠隔其他ノ事故ニ由リ該期限ニ依リ難キモノ有之候ハ豫メ御協議相成度此段及御照會候也

(大臣)照會 會計検査院長宛 明治二十七年四月二十日 財第二二一九號

作業及鐵道會計規則ニ據リ調製スル支出豫算書送付期限ノ義ニ就テハ本年三月送第三五七號ヲ以テ御照會ノ次第モ有之候處年度末期ノ支出計算書ハ作業及鐵道會計支出證明規程第三條ノ書類添付有之候等調査上ノ手數相掛リ到底通常ノ日限ヲ以テ御送付致シ難ク候條右年度末期ノ支出計算書ニ限リ年度經過後三ヶ月以内ニ御送付致候様特ニ御承認相成度此段及御協議候也

(會計検査院長)回答 明治二十七年四月二十七日 送第六三〇號

右ハ御來意ノ通ニテ差支無之候

(局長)照會 明治二十七年八月十三日 鐵第二八三四號

支出計算書中領收證未到達内譯ハ各目ノ區別ニ依リ記載可致之處現金前渡ノ仕拂命令發行濟額ハ項ノ區別ニ依リ記載可致儀ニ付其領收證書ニハ從來各目ノ區別無之隨テ右證書未到達内譯ニ各目ノ區別難致然ルニ右内譯ハ即チ領收證書ノ到達濟ト否トヲ證明スルニ止マリ致テ計算ヲ主トスルモノニモ有之間敷ニ付別ニ御差支モ無之候ハ前渡金ニ係ル領收證書ノ分ハ右内譯中每項各目ノ末位ニ前渡金トシテ一括ニ記載致度此段及御照會候也

(検査院部長)回答 明治二十七年八月二十四日 送第一四二〇號

右ハ御來意ノ通御記載相成可然

(局長)各主任收入官吏宛通牒 明治二十七年八月十一日 鐵第二七九二號

誤拂過渡其他ノ事故ニヨリ一般歳入ヘ收入スヘキ返納金ニ對スル金庫ヨリノ領收濟通知書ハ支出證明上證據書トシテ會計検査院ヘ提出ヲ要シ候ニ付金庫ヨリ該通知書ノ送付ヲ受ケタルハ直ニ歳入歳出納規程第廿條ノ手續ヲ了シタル上計理課長ヘ宛テ御送付可有之此段及御通牒候也

(局長)照會 會計検査院長宛 明治二十七年六月二十二日 鐵第六〇五號

支出證明規程作業及鐵道會計支出證明規程前渡金仕拂證明規程ニ依リ在來品ヲ使用シタル工事一ヶ所費額貳百圓以上ヲ要シタル修繕工事ノ費用又ハ直營ニ屬スル工事ニシテ竣工シタル場合ニ於ケル費用ノ支出計算書又ハ仕拂計算書ニハ各其明細書ヲ添付可致儀ニ候處當局直營工事ニ要スル費用中其材料ハ多ク貯藏品ヲ使用スルヲ以テ其代價ハ仕拂命令官ノ仕拂ニ對シ工費ハ現金前渡ヲ受タル官吏之ヲ仕拂時宜ニ依リ特ニ購入スル物品代ノ如キモ同官吏ニ仕拂ハシメ且工費モ仕拂命令官所在地ニ於テ受取モノハ仕拂命令官之仕拂候場合モ有之候ニ付右規程ニ依リ各種ノ明細書ヲ各其費用仕拂タル官吏ノ計算書ニ添付スルハ自然ノ事項ノ明細書ヲ或通ニ分製スルヲ要シ手數而已ナラス該明細書ハ其全額ヲ知ルニ足ラス聊カ不穩當ニ付右等ハ仕拂計算書ニ添付ノ爲ニハ別ニ之ヲ調製セス總テ支出計算書ニ添付スヘキ様一通ノ明細書ニ調製シ仕拂命令官ヨリ提出ノ事ニ致度此段及御照會候也

追テ現金前渡ヲ受タル官吏ニ於テ費用ノ全部ヲ仕拂タル工事ニ係ル明細書ハ矢張仕拂計算書ニ添付スル様可致儀付御了承有之度此段申添候也

(神戸子前渡官吏)照會 課長宛 明治二十七年一月二十二日 神支甲第三六號

客年十二月會計検査院達第五號作業及鐵道會計支出證明規程第十五條ニ物件購買ニ關スル證據書ニハ該物件所要ノ目的ヲ付記スヘキ事ニ相成居候處貯藏物品ノ如キ所要ノ箇所サヘ豫知シ得サルモノニ對シテハ如何取計可然哉

一物品修繕ノ證據書ニモ所要ノ目的ヲ記載スヘキ義ニ有之候哉

(課長)回答 明治二十七年一月二十三日 鐵計第一九三號

御伺出ノ趣了承第一項貯藏品ノ如キ實際豫知シ得サル物件ニ對シテハ貯藏品タルコトヲ判明ナラシメ所要ノ目的ヲ付

記セサルモ差支有之間敷候第二項修繕ノ物件ニ對シテハ成文モ無之義ニ付所要ノ目的ヲ付記セサルモ差支有之間敷候

(計理課長)照會 各課長宛 明治二十六年十一月二十七日 鐵計第二〇八號

證憑書類ニシテ原本提出シ難キ場合ニ於ケル際本證明方之義ハ從來區々ニ相成居候ニ付別紙書式ニ準シ支出證明ニア
ツテハ二十三年發令鐵道廳歲出仕拂規程第十條ニヨリ作業收入ニ於テハ全歲入收納規程第十七條ニヨリ及從外諸收入
其他證明ニ於テハ證書保管ノ責任アル官吏ノ保證スルキ様致度此段及御照會候也

書式

右正本之通相違無之候也

官 氏 名 應

(鐵道廳會計課長)照會 明治二十五年十二月廿六日 乙第二四九〇號

各地方在住ノ債權者ニ送金ノ稟書ヲ以テ仕拂請求書發行ノ後債主所在不判明ニテ現金交付難致モノ處分方ニ付去ル廿
三年十月大藏省へ照會ノ未該仕拂請求書ハ其儘金庫へ保持セシメ置キ債主ノ所在判明シタルキハ金庫へ送金方請求ノ
取扱ヲ以テ貴院へハ規定領收證書未到達トシテ調書提出致置候向モ有之候處單ニ右様ノミニテハ支出證明ヲ了シタル
モノトモ不判見候ニ付今般別紙第一號寫ノ通大藏省へ照會致候處第二號寫ノ通回答有之候ニ付自今右等ノ類ニ對シテ
ハ債權者ノ本籍又ハ現住スヘキ市郡役所若クハ町村役場等并ニ當該金庫へ往復シタル書類ヲ以テ貴院へ提出致該仕拂
證明ヲ了候様致度敢而御差支無之義ト存候得共何分ノ御回答有之度此段及御照會候也

(會計検査院部長)回答 明治二十五年十二月廿八日 送第二二七六號

御照會ノ趣了承右ハ郡市町村并ニ金庫トノ往復書類ヲ以テ證明了了ノ義差支無之候得共他日正當領收書ヲ得タルトキ
支出證明規定第二十五條ニ準シ即時御提出相成度若シ領收證書用紙交付未了ニ經過シ期滿免除ニ屬スルトキハ其旨本
院へ御報告相成度此段及御回答候也

参照

(鐵道廳會計課長)照會 明治二十五年十一月廿四日 乙第二四四號

去ル廿三年十月十五日付會第二六三號ヲ以テ地方在住ノ債主者へ送金ノ稟書ヲ以テ仕拂請求書發行ノ處債主所

在不判明ニテ現金交付難致モノ處分方ノ義當該廳長官ヨリ貴會大臣ニ御照會相成候處坤一〇〇二七號ヲ以テ貴
官ヨリ御回答ノ趣モ有之候ニ付右ニ該當スル仕拂請求書ハ債主ノ住所判明シタルモ送金方更ニ請求可致旨ヲ以
テ金庫へ其儘保持セシメ置キ候分有之候處右ハ年度内ニ仕拂請求書ヲ發シ金庫ニ於テ現金仕拂ノ請求ヲ受ケサ
ルモノト同一ノ取扱ヲ以テ作業及鐵道會計規則第二十四條若クハ第二十五條等ニ依リ處分相成候ト被存候ニ付
年度經過後滿五年内ニ其所在判明致候節ハ送金方全金庫ニ請求可致モノトシ會計検査院ニ對シテハ金庫ヨリ該
仕拂請求書ノ受領證書ヲ得テ之ヲ提出スレハ其仕拂證明ヲ了了シタルモノト被存候得共右ハ金庫ニ關係致居候
儀ニ付否ヤ承知致度此段及御照會候也

(大藏省主計局長)回答 明治二十五年十二月一日 坤第一二二二號

右ハ御見込ノ通御取扱相成差支無之候得共金庫ハ案内仕拂請求書ヲ受ケ現金仕拂ノ請求ヲ受ケサルモノト總テ
同一ニ取扱候義ニ付右仕拂請求書ニ對シテ受領證書ハ不差出候此段及御回答候也

(鐵道廳長官)照會節錄 明治二十三年十月十五日 會甲第二六三號

地方在住ノ者へ送金ノ稟書ヲ以テ仕拂請求書發行致候處本人申立ノ住處ニ居住不致者又ハ本人逃亡行衛不判明
ニテ現金交付難致モノ有之右ハ如何處分致シ可然哉

(大藏省主計局長)回答節錄 明治二十三年十月廿一日

右仕拂請求書ハ其儘金庫ニ保持セシメ置キ債主ノ住處判明シタルモ該住所ニ送金方請求相成可然候

○諸計算書其他鑿沙引美濃紙ヲ用フル件 明治二十六年七月六日 送第一五五八號(會計検査院書記官)照會

各出納官吏ヨリ本院へ證明相成候諸計算書内譯書及明細書等ノ用紙ハ其書式凡例ニ掲クル如ク紙
質堅牢ノモノヲ可用等ニ候處往々軟質ノ洋紙ヲ用ルモノ有之右ハ取扱中破損致シ且永久保存ニ難
堪ニ付自今諸計算書及内譯書明細書等ノ用紙ハ可成鑿沙引美濃紙ヲ相用候様致度右當該官吏へ御
通知有之度此段及御照會候也

迫テ本文諸計算書等合冊編纂ノ都合有之ニ付綴代ノ餘地凡ソ壹寸貳分存置相成候様致度此段併

ヲ御申添有之度候也。

○官設鐵道用品資金會計支出證明規程 明治二十七年五月十五日

會計検査院達第一七號

官設鐵道用品資金會計支出支規程

第一章 計算書

第一條 官設鐵道用品資金會計規則ニ據リ當該官吏ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ支出計算書ハ別記書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 年度末支出計算書提出ノ期ニ際シ若シ領收證書未到達其他過誤拂等ノ處分未済ニ係ルモノアルトキハ別ニ其理由及完結期限ヲ記載セル書面ヲ添付スヘシ

前項各事項ハ其完結ニ隨ヒ特ニ其報告書ヲ調製シ證書類ヲ添ヘ之ヲ會計検査院ニ提出スヘシ

第三條 左ニ掲クル書類ハ年度末支出計算書ニ添付スヘシ

一 總受拂勘定表

二 當該年度末日計算表

三 資本額ニ増減ヲ生シタルトキハ其金額事山ヲ記載スル明細書

四 貯藏物品中自然ノ腐朽又ハ毀損變質減量等ニ依リ其價格ヲ減シ年度末ニ於テ價格ヲ改定シタルモノアルトキハ每件其事山ヲ確認シ得ヘキ明細書

第四條 左ノ事項中一項二項ハ年度末支出計算書ニ三乃項至六項ハ毎月支出計算書ノ備考ニ記載スヘシ但事ノ複雜ニ涉ルモノハ説明書若クハ其所山ヲ確認シ得ヘキ書類ヲ添付スシ

一 豫算各目ノ金額及事項ニ増減異動ヲ生シタルトキハ其事山

二 支出未済額ノ翌年度ニ繰越タルモノアルトキハ每件其金額事山

三 誤拂過渡其他ノ返納ニ依リ歳入ニ編入シ又ハ編入スヘキモノアルトキハ其金額事山

四 前年度ヨリ繰越タル支出未済額ヲ支出セシモノアルトキハ其金額事山

五 過年度ニ屬スル經費ヲ支出セシモノアルトキハ其所屬年度及金額事山

六 益金ニシテ一般歳入ヘ納付セシモノアルトキハ其金額事山

右ノ外法律命令及計算ノ基ク所ヲ示サ、レハ明瞭ナラサルモノ其他特殊ノ事項ハ各其金額事由ヲ掲載スヘシ

第二章 證書類

第五條 支出證明上證書類トシテ提出スヘキモノハ正當受取人ノ領收證書物件ノ購買ニ關スル各種契約書其他事實ノ確實ヲ證スル書類トス

第六條 證書類ハ原本ニ限ル若シ其原本ヲ提出シ難キ場合ニ於テハ當該官吏ノ保證アル謄本ヲ以テスヘシ

第七條 會計規則第八十條第八十一條ニ基キ取結ヒタル金額五百圓以上ノ物件購買ニ關スル競争契約書ニハ左ノ書面ヲ添付スヘシ

- 一 會計規則第七十四條ニ基キタル公告書但再入札ノ場合ニ於テハ前公告書共
- 二 落札者其物品供給ニ二年以來從事セル證明書
- 三 豫定價格調書
- 四 落札以下三番札迄但再入札ノ場合ニ於テハ前入札最低ノ分共

第八條 金額五百圓以上ノ物件購買ニ係ル隨意契約書ニハ其競争契約ニ依ラサリシ理由ノ説證書

ヲ添付スヘシ

第九條 物品ノ既納部分ニ對シ完済前ニ代價ノ一部分ヲ仕拂タルトキハ其領收證書ニ會計規則第六十七條第二項ニ據リ検査官吏ノ作リタル調書ヲ添付スヘシ

第十條 物件購買ニ關スル證書ニハ每品ノ種類箇數斤量及單價ヲ掲ケ數箇ニ付價格ヲ定メタルモノハ其數箇ニ對スル價格ヲ示シ又割引ニ係ルモノアルトキハ其旨ヲ付記スヘシ

物件購買ニ關スル領收證書ニハ物品出納簿ニ登記濟ノ年月日ヲ詳記スヘシ

第十一條 外國文ヲ以テ記載シタル證書類ハ其譯文外國貨幣ヲ以テ仕拂タルモノハ其爲換相庭及換算調書ヲ添付スヘシ

第十二條 前各條ニ據リ難キ事項ハ適實ノ方法ヲ以テ支出必要ノ事由又ハ其計算ノ基ク所ヲ示シ事ノ複雜ニ涉ルモノハ明細書ヲ添付シ又臨時特殊ニ係ル事項ハ當該長官ノ命令書又ハ認許書若クハ決議書ヲ添付スヘシ

第十三條 止ムヲ得サル事故ニ據リ正當受取人ノ領收證書ヲ得難キ場合ニ於テハ其事由ヲ詳記セテ主任官吏ノ仕拂書ヲ以テ證明スルコトヲ得

第十四條 證書類ノ編纂ハ各目ニ區分シ其金員枚數ヲ表記シ若シ領收證書ノ未到達ニ係ルモノアルトキハ其金員ヲ付記スヘシ但各目ノ枚數僅少ナルトキハ合冊ト爲スモ妨ケナシ未到達ニ係ル領收證書ノ到達セシ分ハ各之ヲ別冊ニ編纂シ月ヲ以テ區分スヘシ
領收證書ニハ仕拂請求書ノ番號ヲ付記スヘシ

附則

第十五條 本規程ハ明治二十七年ヨリ施行ス
(別記)

凡例

- 一 計算書ヲ授受スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ
- 二 計算書ノ用紙ハ厚質縹沙引美濃紙ヲ用ヒ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明ケヘシ
- 三 計算書ハ改描塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横畫シ主任官吏之ニ捺印スヘシ
- 四 現金前渡ヲ爲セシモノアルトキハ總テ作業及鐵道會計支出證明現程ノ様式ニ準據スヘシ

明治何年度
何年何月
何々(款)
支出計算書

名 廳

元受發行 差引殘高	備 考	總 高				
		豫 算		減 計		計
		前年度繰 越 豫 算	本 年 度 豫 算	増	減	
同 銭 組	同 銭 組	同 銭 組	同 銭 組	同 銭 組		
0		0	0	0	0	0
0		0	0	0	0	0
0		0	0	0	0	0
0		0	0	0	0	0
0		0	0	0	0	0
0		0	0	0	0	0
0		0	0	0	0	0
0		0	0	0	0	0
0		0	0	0	0	0

摘 要	括				備 考
	仕拂請求 書發行高	翌年度 繰越高	豫算不 用高	計	
	同 銭 組	同 銭 組	同 銭 組	同 銭 組	
何々(款)					○此總括ハ年度末ノ證明ニ於テ提出スルモノトス
何々(項)					
何々(目)	0	0	0	0	
何々	0	0	0	0	
何々	0	0	0	0	
項合計	0	0	0	0	
何々					
何々	0	0	0	0	
何々	0	0	0	0	
項合計	0	0	0	0	
款合計	0	0	0	0	

未 到 達 內 譯

六 月 分				七 月 分		
未到達高	前月越高	本月到達高	未到達高	前月越高	本 月 到 達 高	未到達高
圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
0	5,000	2,000	3,000	0	0	10,000
2,000	0	0	0	0	0	0
0	3,000	3,000	0	0	0	2,000
2,000	8,000	5,000	3,000	0	0	12,000

仕 拂 請 求 書 發 行 濟 額

元 受 高			摘 要	前 月 迄 本 月		計
前 月 迄 高	本 月 受 高	計		發 行 高	發 行 高	
圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘		圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
			何々(款)			
			何々(項)			
			何々(目)	0	0	0
			何々	0	0	0
0	0	0	合 計	0	0	0

領收證書

摘要	四月			五月	
	前月越高 同銭	本月到達高 同銭	未到達高 同銭	前月越高 同銭	本月到達高 同銭
何々(款)					
何々(項)					
何々(目)	500.0	500.0	0	100.0	100.0
何々	0	0	0	500.0	500.0
何々	500.0	500.0	0	0	0
合計	1000.0	1000.0	0	600.0	400.0

明治何年度何年何月支出計算書

面之通相違無之候也

主任官氏名印

會計検査院長宛

年 月 日

○官設鐵道用品資金所屬物品出納證明規程 明治二十七年十二月十五日 會計検査院達第二九號

官設鐵道用品資金所屬物品出納證明規程

第一條 物品會計規則第十五條ニ據リ物品會計官吏ノ證明スヘキ官設鐵道用品資金所屬物品出納計算書ハ別記書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 物品出納計算書ニハ地金、木材、線路用品等物品ノ種類若クハ所用ノ目的ニ依リ適宜類別シ每品之ヲ細記スヘシ

但同名稱ノ品種ハ之ヲ集合スルモ妨ケナシ

第三條 物品出納證明上證據書類トシテ提出スヘキモノ左ノ如シ但他ノ計算證明上會計検査院ニ

提出濟ノモノアルトキハ其事由ヲ計算書備考ニ掲載スヘシ

- 一 物品會計規則第六條ノ規定ニ依リタル命令書但受拂其明細書ヲ以テ代用スルモ妨ケナシ
 - 二 賣拂品ニ對シテハ數量價格賣拂年月日等ヲ詳記シタル仕譯書但官設鐵道運輸營業及建設事業以外ニ賣拂ヒタル物品ハ其事由ヲ詳記シタル仕譯書及領收證書
 - 三 生産ノ爲メ拂出ノ物品ニ對シテハ其仕譯書
 - 四 亡失毀損ノ物品ニ對シテハ其品質數量代價及亡失毀損ニ係ル事實ヲ詳記シ當該上官ノ認定アル證明書又其辨償濟ニ係ルモノハ其物品ノ數量及辨償金額ノ仕譯書
 - 五 保管轉換ノ爲メ仕拂ノ物品ニ對シテハ事由ヲ詳記シタル當該官吏ノ領收證書又ハ仕譯書
 - 六 價格ヲ評定セシメシモノハ評價人ノ評定價格書
 - 七 代價收入濟物品未渡若クハ物品渡濟代價未收入ノ場合ニハ其仕譯書
 - 八 年度ノ終リ價格改定ノモノアルトキハ其舊價格、改定價格及事由等ヲ詳記シタル仕譯書
 - 九 雜件拂ニ對シテハ其事由ヲ詳記セル仕譯書又ハ領收證書
- 第四條 左ニ掲クル書類ハ計算書ニ添付スヘシ
- 一 當該年度中毎月ノ物品持越高受入高仕拂高殘高ヲ記載セル月計表
- 第五條 前條ノ證憑書類ハ物品出納計算書ニ掲クル品目ノ順序ニ從ヒ之ヲ編纂シ其表紙ニ數量並代價ノ合計及證憑書ノ枚數ヲ記載スヘシ但一品目ノ證憑書僅少ナルモノハ計算書ニ掲クル品目ノ順序ニ從ヒ合算スルモ妨ナク又一證憑書中數種ノ物品混合セルモノアル時ハ別冊ニ編纂シ其表紙ニ每品目數量及代價ノ合計ヲ記入スヘシ
- 第六條 下検査書ハ物品出納計算書毎ニ區分シ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一 物品出納計算書其他證憑書類ノ件名冊數

- 二 物品出納計算書ノ現在高ト其現品ト符合ヲ認メタル保證但當該下検査官吏ニ於テ事實執行シ難キ場合ニ於テハ他ノ監督ノ任アル官吏ノ保證書ヲ以テスルコトヲ得
 - 三 事實ニ適合セスト認定セシ事項ノ理由
 - 四 證憑書類中必要ノモノニシテ検査終了ノ上返附ヲ要スル書類ノ件名
- 第七條 下検査官吏ハ計算書類ノ下検査ヲ完了シ翌年度八月三十一日迄ニ其應ヲ發シ之ヲ會計検査院ニ送付スヘシ
- 第八條 物品出納ノ證明ニ關スル審理書及之ニ對スル報告又ハ答辨書ハ總テ下検査官吏ヲ經由スヘシ

附則

第九條 本規程ハ明治二十七年ヨリ施行ス
(別記)

凡例

- 一 物品會計官吏交代其他ノ事故ニ依リ一年度ヲ通セサルモノアルトキハ計算書ノ表紙及末文何年度ノ次ニ何月日ヨリ何月日ニ至ルト記入スヘシ
- 二 計算書ヲ受授スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ
- 三 計算書ノ用紙ハ厚質縹沙引美濃紙ヲ用ヒ左側ニ曲尺一寸余ノ緩代ヲ明クヘシ
- 四 計算書ハ改描塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横斷シ主任官吏之ニ捺印スヘシ

計		品 目	單位 稱呼	計			
數量	價格			越 高		買 入 生 産	
				數量	價格	數量	價格
	圓 錢 厘			圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘

之 部		計	
保管ノ轉換			雜 件
數量	價格		
	圓 錢 厘	數量 價格	數量 價格

明治 年度
官設鐵道用品資金所屬
物品出納計算書

鐵 道 局
計 理 課(某派出所)

二十三年六月十六日大藏省令第四十一號ヲ以テ改正上

同 上

第三條 出納官吏ヨリ保管金拂込ヲ爲ストキハ金庫ハ其保管證書ヲ製シ保管金引出切符用紙ヲ添へ現金ト引換ニ之ヲ出納官吏交ニ付スヘシ

第四條 出納官吏ノ職務ヲ任命シタル當該官ハ其義務委託ヲ爲スヘキ出納官吏ノ資格氏名ヲ金庫へ通知ス可シ但陸軍省海軍省ノ出納官吏ノ資格氏名ハ其所屬長官ヨリ通知スヘシ

第五條 金庫ハ前條出納官吏資格氏名ノ通知ヲ受クルニ非ラザレハ現金ノ仕拂ヲ爲スヘカラス

第六條 出納官吏ハ保管金ノ仕拂ヲ金庫ニ請求セントスルトキハ總テ引出切符ヲ以テスヘシ

第七條 出納官吏ハ其委託シタル保管金ト同種ノ貨幣ヲ以テ仕拂ヲ請ハントスルトキハ拂込ノ際特ニ之ヲ金庫ニ求ムヘシ拂込ノ際特別ノ請求ナキモノハ總テ有合ノ通貨ヲ以テ仕拂フヘシ

第八條 出納官吏ハ其委託シタル保管金ヲ以テ收入又ハ返納ノ爲メ金庫ニ拂込ヲナサントスルトキハ引出切符ヲ以テ拂込ヲナスヘシ

第九條 (削除)

第十條 陸海軍隊費ニシテ現金仕拂ヲ要スル場合及廳中雜費工事費ニシテ小口ノ現金仕拂ヲ要スル場合ニ於テハ金庫所在地ニアリテモ所要ノ金額ニ限り規則第二章ニ據リ現金ヲ保管スルコトヲ得

前項所要ノ金額ハ仕拂命令官之レヲ定ム

第二章 隨意保管

第十一條 金庫ノ設ナキ場所ニ於テ現金ヲ保管スル所ノ出納官吏ハ堅牢ナル函ヲ備へ之ニ其保管ニ係ル現金及出納ノ帳簿ヲ藏置スヘシ

二人以上協同責任ヲ以テ現金ヲ保管スル場合ニ於テハ二箇以上ノ鎖鑰ヲ有スル堅牢ノ函ヲ備へ出納官吏其鎖鑰ヲ分管スヘシ

出納官吏現金ヲ携帶シテ旅行スル場合ニ於テハ前二項ニ據ラス相當ノ保護法ヲ設クルコトヲ得

第十二條 出納官吏ノ保管ニ係ル現金ハ私有金ト混スルコトヲ得ス

第十三條 出納官吏他ノ公金ノ出納ヲ兼掌スルトキハ其現金ヲ官金ト同一ノ函中ニ藏置スルコトヲ得

第十四條 出納官吏ハ第十一條ニ據リ現金保管ヲナシ難キ場合ニ於テハ自己ノ責任ヲ以テ確實ナル銀行又ハ身代ノ確實ナル一人ニ其保管スヘキ現金ノ保管ヲ托スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ私金ト區別シ其計算ヲ混スヘカラス

第三章 拂込

第十五條 金庫所在地ノ收入官吏現金ヲ以テ租稅其他ノ收入ヲ收納スルトキハ毎日々之ヲ取纏メ拂込書ヲ添へテ翌日迄ニ金庫へ拂込ムヘシ但收入金額五拾圓未滿ナルトキハ每一ヶ月取纏メ金庫ニ拂込ムコトヲ得

第十六條 金庫ノ設置ナキ地方ノ收入官吏現金ヲ以テ租稅其他ノ收入ヲ收納スルトキハ左ノ制限ニ從ヒ之ヲ取纏メ拂込書ヲ添へテ大藏大臣ノ指定シタル金庫ニ拂込ムヘシ但次條ニ定メタル場合ハ此限ニアラス

第一 收入金高五拾圓未滿ハ 每一ヶ月

第二 收入金高百圓未滿ハ 每十日

第三 同 參百圓未滿ハ 每五日

第四 同 參百圓以上ハ 翌日限

○大藏省訓令第六一號 明治二十三年四月十八日

收入官吏

二十三年五月十七日大藏省令第十號ヲ以テ改正追加

二十三年十月二十六日大藏省令第四十一號改正

明治二十二年十月大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則第十六條ニ據リ租稅其他ノ收入ヲ拂込ムヘキ場合ハ當該收入官吏ノ在勤スル官廳ノ出納區域ニ屬スル金庫ヘ拂込ムヘキ儀ト心得ヘシ

第十七條 運輸通信ノ不便ナル地方ニシテ金庫ノ設置ナキ場合ニ於テハ收入官吏現金ヲ以テ租稅其他ノ收入ヲ收納スルトキハ其金額ノ監守證ヲ製シ最近便ヲ以テ大藏大臣ノ指定シタル金庫ニ送付スヘシ

○大藏省訓令第七三號 明治二十二年十二月二十一日

收入官吏

金庫出納役

明治二十二年十月大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則第十七條ニ據リ收入官吏ヨリ金庫ヘ監守證ノ送付ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ニ據リ取扱フヘシ

收入官吏ヨリ金庫ヘ監守證ノ送付ヲ受ケタルトキ取扱手續

- 一金庫ハ出納官吏現金取扱規則第十七條ニ據リ收入官吏ヨリ監守證ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テ收入官吏所在地ノ仕拂官吏ニ送付スヘキ仕拂豫算ノ金額アルトキ又ハ當時該地債主ニ仕拂フヘキ仕拂命令ヲ受クルトキハ同規則第十八條ニ據リ監守證ヲ以テ爲替拂トナスヘシ
- 二金庫ハ收入官吏ヨリ監守證ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テ其收入官吏所在地ノ仕拂官吏ニ送付スヘキ仕拂豫算ノ金額ナキ又ハ當時該地ノ債主ニ仕拂フヘキ仕拂命令ヲ受クルトキ又ハ前項ニ據リ爲替拂トナスモ尙監守證ノ金額ニ殘餘アルトキハ受取人ヲ派出シテ收入官吏ヨリ現金ヲ受取ルヘシ但在外國ノ場合ニ於テハ大藏大臣ヨリ其部度收入官吏ニ指揮スヘシ
- 三金庫ヨリ派出シタル受取人ニハ明治二十二年十二月大藏省訓令第七十二號書式第一號ノ領收證書及收入官吏ヨリ送付シタル監守證ヲ携帶セシメ現金ト引替ヘシムヘシ
- 四金庫ニ於テハ適宜監守證記入簿ヲ設置キ收入官吏ヨリ監守證ノ送付ヲ受タルトキハ各收入官吏毎ニ之ヲ記入シ爾後該監守證ヲ拂出シタルトキハ其年月日等ヲ備考ニ記入スヘシ

○大藏省訓令第四十八號 明治二十三年三月二十六日

出納官吏

金庫出納役

明治二十二年十月大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則第十七條ニ據リ收入官吏ヨリ監守證ヲ送付スル金庫ハ左ノ通相心得ヘシ

- 一外國竝小笠原島ニ於テ收入シタル現金ノ監守證ハ中央金庫ヘ送付スヘシ
- 二運輸通信ノ不便ナル地方ニシテ金庫ノ設置ナキ場所ニ於テ收入シタル現金ノ監守證ハ收入官吏本屬廳所在地ノ本金庫ヘ送付スヘシ

第十八條 金庫ハ前條ノ場合ニ於テ收入官吏ト同場所又ハ其場所ト爲替送金ノ便アル地方ニ於テ仕拂フヘキ仕拂命令ヲ受クルトキハ收入官吏ノ監守證ニ領收證ヲ添ヘテ之ヲ受取人ニ送付スヘシ

第十九條 收入官吏ハ前條ノ受取人ヨリ監守證ヲ以テ現金ノ拂渡ヲ請求セラル、トキハ其監守證ト引換ニ現金ヲ交付シテ金庫ノ領收證ヲ受クヘシ

雜則

第二十條 本規則ハ收入官吏現金前渡ヲ受ケタル官吏特別會計ニ係ル官金出納官吏ニ適用ス

第二十一條 本規則ハ明治二十三年四月會計法施行ノ日ヨリ施行ス

○大藏省訓令第七號 明治二十二年十二月十八日

出納官吏

明治二十二年十月大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則第五條ノ保管金引出切符ハ甲號書式同則第十七條ノ監守證ハ乙號書式ノ通相心得ヘシ

<p style="font-size: 2em;">引 出 切 符</p>		<p style="font-size: 2em;">案 内 引 出 切 符</p>	
<p>年 何 日 月 何 日 明 何</p>	<p>第 何 號</p> <p>金 參 百 圓 也</p> <p>何 之 誰 渡</p> <p>何 地 金 庫</p>	<p>甲 第 何 號</p> <p>金 參 百 圓 也</p> <p>何 之 誰 渡</p> <p>本行ノ金額ハ切符發行ノ日ヨリ三日間ヲ限リ 此引出切符持参人ニ仕立 何 有 之 候 也</p> <p>出 納 官 吏 官 氏 名 ㊦</p> <p>明 治 何 年 何 月 何 日</p> <p>何 地 金 庫 宛</p>	<p>乙 第 何 號</p> <p>金 參 百 圓 也</p> <p>何 之 誰 渡</p> <p>此引出切符本日發行ス</p> <p>出 納 官 吏 官 氏 名 ㊦</p> <p>明 治 何 年 何 月 何 日</p> <p>何 地 金 庫 宛</p>
<p>出 納 官 吏 印</p>		<p>出 納 官 吏 印</p>	

書式中「」ノ内并ニ印章ハ朱

乙 式書號

備考

出納官吏現金取扱規則第十七條ノ内外國ニ係ルモノニ
ハ外國貨幣ヲ本條ニ掲ケ本邦通貨ヲ腹書スヘシ
分任收入官吏ノ場合ニ於テハ何廳主任收入官吏官氏名所
屬分任收入官吏氏名ト記載スヘシ
用紙適宜 縦四寸五分 横三寸三分 二枚接續

原

符

第「何」號 「某」年 度 「所」管 廳

「經常(臨時)」 「何々」(款) 「何々」(項) 「何々」(目)

一金「何程」

收入ノ目的

明治「何」年「何」月「何」日

收入官
吏割印

第「何」號 「某」年 度 「所」管 廳

「經常(臨時)」 「何々」(款) 「何々」(項) 「何々」(目)

一金「何程」

收入ノ目的

右 監 守 候 也

明治「何」年「何」月「何」日

「何廳收入官」

氏

名

「何地金庫」

(鐵道廳事務官)照會 明治二十六年九月六日 乙第九一六號

現金前渡ヲ受タル官吏正當受取人姓名ニ仕拂ヘキ金額ヲ合計シ一葉ノ引出切符ヲ發行之ヲ以テ現金出納簿ノ拂ニ立テ
金庫ヨリハ現金領收濟ノ處右數名受取人ノ内一名或事故有之現金領收方ヲ申出サル節及誤拂過渡トナリタル金額又ハ
概算渡精算過剩金ノ返納ニシテ再ヒ金庫ヘ保管預ケトナシタル場合ニハ現金出納簿拂ノ欄ヲ合計シテ該金額及事
由ヲ朱記右合計ノ内ヨリ控除シ可然裁將又金庫ニ於テハ右金額何レモ元受トナルヲ以テ月計表對照ノ節ハ其金額及事
由ヲ記載シタル付箋ヲ貼付證明可然裁ニ候裁記帳上一定ノ書式無之ニ付及御問答候條差掛タル義モ有之候間折返シ御
回答ヲ煩度候也

(大藏省主計局長)回答 明治二十六年九月十四日 坤第一一四號

右ハ受ノ欄ニ記入シ朱ヲ以テ扣除セサル方ト存候此段及御回答候也

追テ本文御問合書ニ依レハ出納官吏自ラ金庫ヨリ現金ヲ引出ス爲メ引出切符ヲ發行セシトキ現金出納簿ノ拂ニ記入
セシモノ、如ク相見ヘ候得共出納簿ノ拂ニ立ルハ債主ニ引出切符又ハ現金ヲ交付セントキニ限ル義ニ有之候爲念此
段申添候也

二十六年十月二十二日
大藏省訓令第六四號
以テ追加

(鐵道事務官)照會 明治二十六年八月二十八日 乙第八九一號

現金前渡ヲ受タル官吏ニ於テ支拂ヲ爲スニ當リ引出切符ヲ發行本人へ交付スルト同時ニ現金出納簿へ記入シ會計検査院へモ夫々證明簿ノ處金庫ニ於テハ月計對照表ニ該金額ハ未拂ノ事由ヲ付シ送致セリ依テ取調タル處本人ハ引出切符携帶ノ儘逃亡セシメテ發見セリ而シテ該切符ノ已ニ無効トナリタル以上ハ該金額ハ前渡官吏保管ノ責ニ任スルノ外右之間敷トモ相考候得共一旦正當ノ手續ヲ以テ仕拂タルモノナルニ依リ本人ヨリ再發行ヲ請求セサル間ハ帳簿其他其儘差置可然哉處分方承知致度候間至急詳細御回答相成度此段及御照會候也

(大藏省主計局長)回答 明治二十六年九月二日 坤第一〇八〇號

右ハ金庫ヨリ無効トナリタル案内切符ノ返付アリタルキ現金出納簿ニ於テ其引出切符ニ相當スル仕拂額御取消可相成義ト存候此段及御回答候也

大藏省訓令第六三號 明治二十六年十二月二十二日

出納官吏

明治二十二年當省令第十三號出納官吏現金取扱規則第一條ニ據リ保管ノ爲メ現金ヲ金庫ニ委託スルトキハ左ノ書式ニ據リ拂込書ヲ調製シ現金ニ添付スヘシ
出納官吏現金取扱規則第十七條ニ據リ監守證ヲ金庫ニ送付スルトキハ其送付書ニ歳入ノ徵收ヲ監督スル所ノ官吏ノ官氏名ヲ記載スヘシ
用紙適宜 縦四寸五分 横三寸三分

雜部保管金拂込書

一金何程也
右保管有之度候也

明治何年何月何日

何地金庫宛

某處出納官吏官氏名

附則
本令ハ明治二十七年一月一日ヨリ施行ス

○收入官吏二名連署ノ件 明治二十三年四月二十二日

大藏省訓令第六七號

北海道廳 府縣

國稅ノ徵收ヲ取扱フ收入官吏ヲ一箇所ニ二名ヲ置キタル地方ニ於テハ其徵稅令書及ヒ納付書中ニ其二人ノ官氏名ヲ記載シ收入官吏現金拂込書ハ其二人ヲシテ連署セシムヘシ

○金庫ニ於テ現金領收濟ノ後年度ニ誤謬アルヲ發見シタルトキ訂正手續

明治二十四年五月二十五日

大藏省令第一一號

金庫ニ於テ現金領收濟ノ後納額告知書現金拂込書及納付書記載ノ年度ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキ訂正手續左ノ通り定ム

第一條 納額告知書記載ノ年度誤謬ノ場合ニ於テハ歳入ノ調定官ヨリ收入官吏ヲ經テ又現金拂込書納付書記載ノ年度誤謬ノ場合ニ於テハ收入官吏ヨリ訂正方ヲ金庫ニ請求スヘシ

第二條 金庫ニ於テ前條ノ請求ヲ得タルトキハ帳簿ヲ訂正シ直チニ其旨ヲ收入官吏ニ報告シ收入官吏ハ金庫ノ報告ニ依リ金庫ニ於テ訂正セシムニ於テ帳簿ヲ訂正スヘシ

前項ニ依リ訂正ヲナスハ翌年度七月三十一日迄ニ請求書ノ金庫ニ到達シタルモノニ限ル

第三條 金庫ニ領置シタル納額告知書現金拂込書又ハ納付書ニハ金庫ニ於テ又歳入ノ徵收ヲ監督スル所ノ官吏又ハ收入官吏ニ領置シタル領收濟通知書ニハ該官吏ニ於テ訂正ノ事由ヲ附記シ置クヘシ

○出納官吏現金取扱規則ニ依リ現金ヲ金庫ニ委託セル出納官吏交替通知

方明治二十五年三月二十五日
大藏省訓令第一四號

出納官吏

明治二十二年大藏省令第十三號第一章ニ依リ現金ヲ金庫ニ委託シタル出納官吏ニシテ交替ヲナシタル場合ハ金庫ニ於テ月計對照表差出方ノ都合有之ニ付其旨速ニ當該金庫ヘ通知スヘシ

○政府ニ屬スル歳入歳出外現金取扱官吏ノ件 明治二十三年三月二十日
勅令第三五號

政府ニ屬スル歳入歳出外ノ現金ヲ取扱フ出納官吏ニ關スル規則ハ會計規則第八章及第九章中現金ヲ領收スル收入官吏ニ關スル各條ニ準據ス

(栃木縣) 明治二十四年五月十四日

明治二十三年三月勅令第三十五號政府ニ屬スル歳入歳出外現金トハ即チ歳入歳出ノ外法律規則ニヨリ官吏職務上出納スル所ノ現金ヲ云フ儀ナルヘシ果シテ然ルトキハ會計規則第六十九條第二項及國稅滯納處分法施行細則第五條等ノ保證金ヲ徵シタルトキハ(保證金ヲ沒收)歳入歳出外ノ現金トシ本年三月會計検査院達第二號ニヨリ證明スル儀ナル哉又滯納處分法ニ係ル財産質却代金ヲ以テ債主ニ交付シ若クハ剩餘金ヲ滯納者ニ交付スル現金ハ歳入歳出外ノ現金ナルモ二十三年八月御省訓令第二百二十四號租稅收入證明規程第四號書式滯納處分金明細書ニ掲載シ證明スルヲ以テ無論歳入歳出外ノ現金トシ證明スルニ及ハサル哉

(大藏省) 明治二十四年五月二十日
第一項 前段會計規則第六十九條第二項ニ該當スルモノハ其事實ニ就キ更ニ申出ヘシ
後段國稅滯納處分法施行細則第五條ノ保證金ハ代金納付マテ保管スルモノハ租稅收入證明規程第三條ニ據リ明細書中適宜受拂ノ部ヘ區畫ヲ設ケ證明スヘシ其即時返付スルモノハ證明スルニ不及
第二項 伺ノ通

第十章 出納官吏任命交替附身元保證金

○鐵道局出納官吏任命規程 明治二十六年十二月二十八日

鐵道局

鐵道局出納官吏任命規程左ノ通之ヲ定ム

第一條 鐵道局出納官吏任命規程

計理課本課及神戸出納事務所 主任收入官吏現金前渡ヲ受クヘキ官吏 歳入歳出外現金出納官吏 物品會計官吏 同

各驛 分任收入官吏 主課長野、靜岡、名古屋各出納事務所 主任收入官吏 現金前渡ヲ受クヘキ官吏 同

前記ノ外必要アルトキハ臨時出納官吏ヲ置クコトアルヘシ

第二條 分任收入官吏ノ所屬ハ左ノ如シ

一 新橋御殿場間及橫須賀線各驛ノ分任收入官吏ハ計理課本課主任收入官吏ノ所屬トス

一 佐野鷺津間各驛ノ分任收入官吏ハ計理課靜岡出納事務所主任收入官吏ノ所屬トス

一 豐橋垂井間及武豐線各驛ノ分任收入官吏ハ計理課名古屋出納事務所主任收入官吏ノ所屬トス

一 關ヶ原神戸間各驛ノ分任收入官吏ハ計理課神戸出納事務所主任收入官吏ノ所屬トス

一 長濱金ヶ崎間各驛ノ分任收入官吏ハ計理課敦賀派出所主任收入官吏ノ所屬トス

一 飯塚直江津間各驛ノ分任收入官吏ハ計理課長野出納事務所主任收入官吏ノ所屬トス

一 新城弘前間各驛ノ分任收入官吏ハ計理課青森派出所主任收入官吏ノ所屬トス

第三條 鐵道局出納官吏ハ鐵道局長ノ上申ニ依リ遞信大臣之ヲ命免ス

但在驛者死亡等ノ場合ニ於テ本條ノ手續ヲ爲ス暇ナキトキハ鐵道局長ニ於テ一時之ヲ任命シ

其旨遞信大臣ニ上申スヘシ

二十七年十一月二十八日
及第三條但
書ヲ加フ

第四條 出納官吏ノ代理官又ハ會計規則第百條ノ代務員ハ鐵道局長之ヲ命シ其時々遞信大臣ニ届出ツヘシ

附則

第五條 本規程ハ明治二十七年一月一日ヨリ施行ス

但シ分任收入官吏ノ分ハ明治二十七年二月一日ヨリ施行ス

第六條 明治二十六年十二月三十一日ノ在職者ハ別ニ辭令ヲ交付スルニ非レハ明治二十七年一月一日以降モ其ヲ職繼續スルモノトス

但シ從來ノ收入官吏ハ本規程施行ノ當日ヨリ主任收入官吏トス

○出納官吏交替シタルトキ事務引繼手續 明治二十三年四月一日 大藏省訓令第五四號

出納官吏

出納官吏交替ノトキ事務引繼手續左ノ通り心得ヘシ

二十六年十二月二十六日大藏省訓令第六十六號ヲ以テ改正

第一條 出納官吏交替ノトキハ前任出納官吏ニ於テ引繼ヘキ帳簿證憑書其他書類ノ目錄二通ヲ作リ後任出納官吏立會ノ上ニテ現物ニ照シ受授ヲナシタル後チ目錄ニ年月日及ヒ無相違受授ヲ了シタル旨ヲ記入シ兩出納官吏ニ於テ署名捺印シ各一通ヲ所持スヘシ

第二條 出納官吏ニ於テ備フル所ノ帳簿ハ引繼ノ日ニ於テ最終記帳ノ下ニ單線ヲ畫シ合計高ヲ記載シ其下ニ二線ヲ畫シ其次ニ年月日ヲ記入シ前任出納官吏及後任出納官吏署名捺印スヘシ

第三條 會計規則ニ依リ收入官吏ニ於テ調製スル所ノ毎月收入報告書ハ後任收入官吏之ヲ調製スヘシ

第四條 (削除)

第五條 收入官吏交替ノトキハ前任收入官吏ニ於テ第二號書式ノ收入計算書二通ヲ調製シ收入未濟額ヲ後任收入官吏ニ引繼ヘシ

二十三年十二月二十三日大藏省訓令第五十三號ヲ以テ改正

第六條 現金ヲ領收スル收入官吏現金前渡ヲ受ケタル官吏及政府ニ屬スル歳入歳出外ノ現金ヲ取扱フ出納官吏交替ノトキハ前任出納官吏ニ於テ現在保管ノ金額及金種類ヲ示ス所ノ第三號書式

計算書ヲ作り検査員ノ立會ヲ以テ現金出納簿ト對照シ保管金ヲ後任出納官吏ニ引繼ヘシ

第七條 後任出納官吏第五條及第六條ノ引繼ヲ受ケタルトキハ收入計算書及保管金現在高計算書ニ式ノ如ク記名捺印シ其一通ヲ前任出納官吏ニ交付スヘシ

第八條 二十二年大藏省令第十三號第一章ニ依リ出納官吏ヨリ金庫ニ委託シタル現金ハ前任出納官吏ヨリ後任出納官吏ニ引繼キ後任出納官吏ハ同省令第二條ニ依リ印鑑ヲ金庫ニ送付スヘシ

第九條 (明治二十三年十二月二十七日大藏省訓令第五十三號ヲ以テ削除) (「丙及印章ハ朱」)

二十五年六月十八日大藏省令第八號ヲ以テ改正

二十三年十二月二十三日大藏省訓令第五十三號ヲ以テ改正

「第二號書式」 入計算書

不納缺損額	收入未濟額	收入未濟額内譯			
		納期中		處分中	
圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘	圓 銭 厘
900 00 0	100 00 0	0	100 00 0	0	0
100 00 0	100 00 0	50 00 0	50 00 0	0	0
0 0	0	0	0	0	0
1,300 00 0	200 00 0	50 00 0	150 00 0	0	0

了シ月	候日	出納官吏	印鑑	氏名
收入	官吏	官吏	官吏	氏名
收入	官吏	官吏	官吏	氏名

某年度收 保管金現在高計算書 「第三號書式」

金種類	金額	備考	款	項目	調定濟額		收入濟額	
					圓	銭	圓	銭
金銀銅紙引爲預	0		何々	何々	4,000	00	3,000	00
貨貨貨幣符形	500	00	何々	何々	5,000	00	4,500	00
出替金	50	00	何々	何々	7,000	00	7,000	00
切手	3,000	00						
形	10,000	00						
形	30	00						
形	800	00						
合計	14,380	00			16,000	00	14,500	00

〇收入官吏交替シタルトキ金庫へ通知方及計算方取扱手續明治二十六年十二月二十八日大蔵省訓令第七九號

北海道廳 府縣 收入官吏金庫出納役

明治二十三年當省訓令第九十二號左ノ通改正ス

一主任收入官吏交替ノトキハ直ニ其在勤廳長官ヨリ前任及後任主任收入官吏ノ官氏名及何日迄ハ前任主任收入官吏ノ取扱何日以降ハ後任主任收入官吏ノ取扱ナルコトヲ該主任收入官吏關係ノ金庫并ニ該主任收入官吏所屬各分任收入官吏へ通知シ該分任收入官吏ヲシテ其關係金庫へ通知セシムヘシ

一金庫ニ於テ主任收入官吏交替ノ通知ヲ受ケタルトキハ該主任收入官吏交替ノ日限ヲ以テ歳入金各應内譯簿ニ於ケル前任主任收入官吏ノ口坐ヲ締切リ(主任收入官吏關係ノ金庫ニ於テハ分任收入官吏關係金庫ニテ交替日限迄ニ收入セシモノヲ記入シタル後)更ニ後任主任收入官吏ノ口坐ヲ設クヘシ

一金庫ニ於テ前項ニ依リ前任主任收入官吏ノ口坐ヲ締切リタルトキハ其取扱ニ係ルモノニ對シ速カニ月計對照表(分任收入官吏關係ノ金庫ニ於テハ歳入金突合表)ヲ作り該收入官吏(分任收入官吏關係ノ金庫ニ於テハ該分任收入官吏)ノ證明ヲ受クヘシ但前任主任收入官吏死亡ノ場合ハ月計對照表ヲ前任主任收入官吏某取扱ノ分トシテ(後任收入官吏取扱ノ分ト混スヘカラス)之ヲ後任主任收入官吏へ差出シ證明ヲ受クヘシ

一金庫ニ於テ第二項ニ依リ後任主任收入官吏ノ口坐ヲ設ケタル後前任主任收入官吏官氏名ヲ記載シタル徵稅令書納入告知書等ヲ以テ現金ヲ納付スラモノアルトキハ總テ之ヲ後任主任收入官吏ノ口坐へ記入シ該主任收入官吏ノ計算ニ組入ルヘシ

一分任收入官吏交替ノトキハ直ニ其在勤廳長官ヨリ前任及後任分任收入官吏ノ官氏名及何日ヨリ以降ハ後任分任收入官吏ノ取扱ナルコトヲ關係ノ金庫ヘ通知スヘシ

一金庫ニ於テ分任收入官吏交替ノ通知ヲ受ケタルトキハ前任分任收入官吏ノ取扱ニ係ルモノニ對シ直ニ歳入金突合表ヲ作り該分任收入官吏ノ證明ヲ受クヘシ但前任分任收入官吏死亡ノ場合ハ歳入金突合表ヲ前任分任收入官吏某取扱ノ分トシテ(後任分任收入官吏取扱ノ分ト混スヘカラス)之ヲ後任分任收入官吏ヘ差出シ證明ヲ受クヘシ

一分任收入官吏交替ノ後前任分任收入官吏官氏名ヲ記載シタル徵稅令書納入告知書等ヲ以テ現金ヲ納付スルモノアルトキハ總テ其金額ヲ後任分任收入官吏ノ取扱トシテ歳入金突合表ヲ調製スルモノトス

參照(大藏省訓令第七九號)

明治二十三年五月二十七日大藏省訓令第九十二號ハ收入官吏轉免死亡等ニ依リ交替シタルトキ金庫ヘ通知方及金庫計算方取扱手續ナリ

(公達第四號) 明治二十四年一月九日

一、二等郵便電信局 一等郵便局

出納官吏交替ノ際後任者ヘ事務引續ナシタルトキハ其引續年月日本省經由會計検査院ヘ通知スヘシ

○收入官吏會計主務官代理者會計規則第八十五條ニ相當セルモノアルトキ金庫心得方 明治二十五年十二月二十六日 大藏省訓令第四六號

收入官吏 會計主務官 金庫出納役

收入官吏ノ代理ヲ命セラレタルモノニシテ會計規則第八十五條ノ規定ニ相當セルモノアルトキハ金庫ハ明治二十三年大藏省訓令第九十二號收入官吏交替ノ例ニ據リ各廳ノ通知ヲ受ケ其計算ヲ整

理スヘシ會計主務官ノ代理ヲ命セラレタルモノニシテ會計規則第八十五條ノ規定ニ相當セルモノアルトキハ金庫ハ特ニ大臣ノ命シタル代理官タル旨ノ通知ヲ受ケ明治二十四年大藏省訓令第四十三號會計主務官交替ノ例ニ據リ其歳出金月計對照表ヲ調製スヘシ

(逓信書記官) 照會 明治二十四年六月五日

出納官吏死亡ノ際義務委託金處理方ノ件ニ付財乙第二二八號御照會ニ對シ坤第八六〇號御回答之趣ニ據リハ前後出納官吏相互ノ問書面ヲ以テ受授スルニ止マリ金庫ニハ關係セサル儀ト被存候ヘ共爲念再應及御照會追テ坤第八六〇號御追書ニ付ニ命セラレタル官吏ノ官氏名等ハ出納官吏現金取扱規則第四條ニ準シ金庫ヘ通知スルヲ可取計旨御記載有之候得共客年御省訓令第五十三號ヲ以出納官吏交替ノ事務引續手續第八條ヲ改正セラレ、引出切符ヲ以テ、七字ヲ削除セラレタル以上ハ右官氏名ヲ金庫ニ通知スル必要ハ無之候ト被存疑義ヲ生シ候條其由併セテ御明示相成度候

(大藏省主計局長) 回答 明治二十四年六月十二日

右ハ前任出納官吏ニ代リ其委託シタル現金ヲ引出シ之ヲ後任者ニ引繼而シテ後任者ニ於テ更ニ義務委託ヲ爲スノ手續ヲ履行スヘキ等ナルニ依リ金庫ニ關係スル儀ト存候追而出納官吏交替ノ時事務引續手續第八條「引出切符ヲ以テ」ノ七字削除相成候要旨ハ必スシモ引出切符ヲ以テスルノ制限ヲ解カレタル迄ニ付前任者ニ於テ現金ヲ引出シタル上之レヲ引繼クモ又ハ引出切符ヲ以テスルモ何レモ便宜ニ相成タル儀ト御承知可有之候

○收入官吏ノ代理ヲ命シタルトキ金庫ヘ通知方及金庫計算取扱手續 明治二十六年一月十三日 公達第六號

逓信部内 一般 電信局三等 局ヲ除ク

收入官吏ノ代理ヲ命シタルトキハ金庫ヘ通知方及金庫計算方取扱手續ノ義ハ明治二十三年五月大藏省訓令第九十二號收入官吏交替ノ例ニ依リ取扱フヘシ

○分任收入官吏ノ取扱ニ係ル歳入金ハ主任收入官吏ノ事務ヲ繼承スルニ因リ其旨關係金庫ヘ通知ノ件 明治二十六年十二月九日 大藏省訓令第五二號

注意二十三
年大藏省訓
令第九十二
號ハ明治二
十二年六月
九日大藏省
訓令第七號
改正

税關 警視廳 北海道廳 府廳

會計規則改正ノ結果ニ因リ明治二十七年一月一日以降分任收入官吏ノ取扱ニ係ル歳入金ハ主任收入官吏ノ計算トシテ取扱フヘキ筈ナルヲ以テ金庫ニ於テハ明治二十三年常省訓令第九十二號ニ準シ月計對照表差出方等可取計ニ付新ニ就職スヘキ主任收入官吏ノ官氏名并ニ其主任收入官吏ハ從前收入官吏某々ノ事務ヲ繼承スル旨ヲ本年十二月二十日マテニ關係金庫ヘ通知スヘシ

○明治二十七年一月一日以降分任收入官吏ノ取扱ニ係ル歳入金ノ件 明治二十七年一月一日公達第五〇五號 遞信部内一般

明治二十七年一月一日以降分任收入官吏ノ取扱ニ係ル歳入金ハ主任收入官吏ノ計算トシテ可取扱筈ニ付金庫ニ於テハ明治二十三年大藏省訓令第九十二號ニ準シ月計對照表差出方等可取計候條明年一月一日ヨリ主任收入官吏トナルヘキモノ、官氏名并ニ其主任收入官ハ從來收入官吏某々ノ事務ヲ繼承スル旨關係ノ金庫ヘ當該局長ヨリ通知スヘシ 但本文通知ハ公報到達次第直チニ取計フヘシ

○會計主務官事務引繼手續中仕拂命令官ニ關スル事項取扱方 明治二十六年十月十四日大藏省訓令第五十六號 大藏省所管經費仕拂命令官

本年當省訓令第四十九號會計主務官事務引繼手續中仕拂命令官ニ關スル事項ハ該訓令ノ趣旨ニ依リ取扱フヘシ 本年當省訓令第四十九號會計主務官事務引繼手續中仕拂命令官ニ關スル事項ハ該訓令ノ趣旨ニ依リ取扱フヘシ 遞信省所管經費仕拂命令官

本年大藏省訓令第四十九號會計主務官事務引繼手續中仕拂命令官ニ關スル事項ハ該訓令ノ趣旨ニ依リ取扱フヘシ

○分任收入官吏ノ屬スル主任收入官吏交替事務引繼手續 明治二十七年三月二十八日大藏省訓令第一三號 税關 警視廳 北海道廳 府廳

分任收入官吏ノ屬スル主任收入官吏交替ノトキ事務引繼手續左ノ通相定候條右手續ニ依リ事務引繼方取計フヘシ 但主任收入官吏ノ收入簿中自己取扱ノ分ト所屬各分任收入官吏取扱ノ分トノ口坐ヲ設ケ記帳整理スヘシ

主任收入官吏交替ノトキハ明治二十六年大藏省訓令第七十九號第一項ニ依リ所屬各分任收入官吏及金庫ニ通知スルモノトス 前任主任收入官吏ハ交替當日ニ於テ收入簿中自己取扱ノ分ヲ登記スヘキ口坐ヲ締切リ其結果ニ依リ明治二十三年大藏省訓令第五十四號第五條ノ收入計算書ヲ調製シ收入未滿額ヲ後任主任收入官吏ニ引繼クモノトス

前任主任收入官吏ニ屬スル分任收入官吏ハ其主任收入官吏交替ノ日限ヲ以テ收入報告書ヲ調製シ前任主任收入官吏若クハ其代理者ハ前項分任收入官吏ノ收入報告書ニ依リ收入簿中分任收入官吏ノ取扱ノ分ヲ登記スヘキ口坐ニ其員額ヲ登記シ其口坐ヲ締切リタル上追加收入計算書ヲ(書式收入計算書ニ準ス)調製シ收入未滿額ヲ後任主任收入官吏ニ引繼キ金庫ヨリ提出スル歳入金月計對照表ニ證明ヲ與フルモノトス

○出納官吏身元保證金規則 明治二十三年一月十八日 勅令第四號

二十四年六月三日勅令第五十一號ヲ以テ追加二十年十月十日勅令第二〇四號ヲ以テ第六條ヲ刪除ス

- 第一條 左ノ出納官吏ニシテ其取扱金額一ケ年五百圓以上又ハ常時保管スル物品ノ價格千圓以上ニ達スルモノハ身元保證金ヲ納ムヘシ但兵備品ノ出納ヲ取扱フ武官ハ本條ノ限リニアラス
- 第一 現金ノ領收ヲ常職トスル官吏
- 第二 常時現金前渡ヲ受クル官吏
- 第三 物品會計官吏

(廣島縣) 附令 明治二十四年一月九日

客年七月十七日附第二九八八號御省達作業益金納入手續ニ據レハ收入官吏ニ於テハ全ク現金領收ノ手續ニ依リ取扱フヘキモノニ候處該益金ハ仕拂請求書ヲ受領シタル儘直ニ拂込書ヲ添ヘ金庫ヘ納付シ別ニ現金ヲ領收セサル儀ニ付其仕拂請求書ノ金額ハ客年一月勅令第四號第一條ノ取扱金額ニハ算入セサル儀ト相認メ候得共誤認無之哉

(大藏省主計局) 回答 明治二十四年一月二十二日

收入官吏ノ交付ヲ受ケタル仕拂請求書ノ金額ハ勅令第四號第一條ノ取扱金額ニ算入スル儀ト御承知有之度

- 第二條 身元保證金ハ就職ノトキ納付スヘキモノトス但現ニ明治二十三年四月一日ニ在職セル出納官吏ニ限リ明治二十三年四月以後明治二十八年三月マテ五ケ年間ヲ期シ其身元保證金額ヲ平分シ毎年四期又ハ毎月ニ之ヲ納付セシムヘシ前項明治二十三年四月一日ニ在職セル出納官吏ニシテ土地若クハ公債證書ヲ以テ身元保證金ニ代用セントスルモノハ明治二十三年九月迄ニ一時ニ納付セシムヘシ
- 第三條 身元保證金ニ代用セントスル公債證書ハ有利足ノモノヲ以テシ其價格ハ明治二十三年三月月中東京取引所平均ノ相場ニ依リ爾後五ケ年毎ニ其年三月中ノ同所平均相場ニ依リ其價格ヲ改定スヘシ但明治二十三年三月以後新ニ發行シタル公債證書ノ價格ハ身元保證金納付前月ノ東京

- 取引所ノ平均相場ニ依リ爾後本條ノ期限ト同時ニ其價格ヲ改定スヘシ
- 第四條 身元保證金ニ代用セントスル土地ノ價格ハ總テ土地臺帳ニ登記ノ價格ニ依ルヘシ
- 第五條 會計規則第一百五條第二項ニ依リ身元保證金ニ代用シタル公債證書若クハ土地ヲ公賣スルトキ其公賣公告入費ハ損失金ノ辨償ヲ命セラレタル出納官吏ヲシテ辨償セシムヘシ

(鐵道廳第三部長) 照會 明治二十四年七月七日 甲第六九二號
物品會計官吏ニシテ身元保證金分納ノ者完納ニ至ラズシテ解任ヲ命セラレタル場合ニ於テハ其殘額納付セサルモ可ナルヤ將又責任解除ニ至ル迄ハ其殘額金ヲ納付セシムルノ義ナルヤ
(大藏省主計局長) 回答 明治二十四年七月九日 坤第二一四九號

右ハ前段御見込ノ通りニテ可然ト存候

○遞信省出納官吏身元保證金取扱規程 明治二十六年十二月二十八日 公達第五四二號

- 第一條 遞信省所管出納官吏身元保證金取扱規程
- 第一條 部局長ハ別ニ定ムル算率ニ依リ出納官吏ノ身元保證金額ヲ算出シテ出納官吏ニ令達スヘシ
- 第二條 部局長前條ノ令達ヲナシタルトキハ第一號書式ニ依リ直ニ遞信大臣ニ報告スヘシ
- 第三條 出納官吏會計規則第三百三條ニ依リ現金ヲ以テ身元保證金ヲ納付セントスルトキハ明治二十六年大藏省令第二十號保管物取扱規程ニ依リ其現金ヲ金庫ニ預ケ入レ其保管證書ヲ得テ之ニ第二號甲又ハ乙書式ノ納付書ヲ添ヘ遞信大臣ニ納付スヘシ
- 第四條 出納官吏會計規則第三百三條但書ニ依リ公債證書ヲ以テ現金ニ代用セントスルトキハ記印トシ利札付ノマ、二十六年大藏省令第二十號保管物取扱規程ニ依リ金庫ニ預ケ入レ其保管證書ヲ得テ之ニ第三號甲又ハ乙書式ノ納付證書ヲ添ヘ遞信大臣ニ納付スヘシ

第五條 出納官吏會計規則第百三條但書ニ依リ土地ヲ以テ現金ニ代用セントスルトキハ第四號書式ノ登記請求書ヲ部局長ニ差出スヘシ

第六條 部局長前條ノ請求書ヲ受ケタルトキハ登記法第二十一條ノ手續ヲナスヘシ但部局長ハ部下ノ官吏又ハ他ノ部局員ヲ指定シテ之ヲ代理セシムルコトヲ得

第七條 土地ノ登記ハ第五號甲又ハ乙書式ノ書入證書ニ依リテ之ヲ了シ部局長ハ其書入證書ヲ直チニ逓信大臣ニ進達スヘシ

第八條 三等郵便電信局及郵便局郵便爲替貯金出納官吏ヨリ身元保證金トシテ納付シタル保管證書納付證書書入證書等ハ監督一等局長之ヲ保管シ其徵收及還付ヲナシタルトキハ明治二十二年公達第三百二十六號ニ依リ逓信大臣ニ報告スヘシ

第九條 出納官吏公債證書若クハ土地ヲ以テ現金ニ代用スル場合ニ於テハ明治二十三年勅令第四號第三條及第四條ノ計算ニ依リ身元保證金額ニ對シ過剩ヲ生スルコトアルモ其儘納付スルハ妨ケナシ

第十條 數職ヲ兼スル出納官吏ノ身元保證金ハ職務毎ニ區別シテ納付スヘシ

第十一條 二人以上連帶責任ノ出納官吏ノ身元保證ハ金其納金額ヲ各自ニ區別シテ納付スヘシ

第十二條 明治二十三年勅令第四號第二條但書ニ依リ身元保證金ヲ納付スルモノハ左ノ期限ニ依リ

一四期納付ノ分

第一期 六月末日マテ 第二期 九月末日マテ

第三期 十二月末日マテ 第四期 三月末日マテ

ニ毎月納付ノ分

毎 月末日マテ

分納ノ許可ヲ得タルモノト雖モ殘額ヲ一時ニ完納シ又ハ數回分ヲ繰上ケ納付スルハ妨ケナシ但此場合ニ於テハ納付書ニ其旨ヲ記載スヘシ

第十三條 逓信大臣ハ身元保證金ノ納付済トナリタルトキハ第六號甲書式ノ納付濟證ヲ出納官吏ニ交付ス

但明治二十三年勅令第四號第二條但書ノ場合ニ於テハ納付ノ都度第六號乙書式ノ假納付濟證ヲ交付シ完納ニ至ツテ之レト引換ヘシ第六號甲書式ノ納付濟證ヲ交付スルモノトス

第十四條 出納官吏會計規則第百二條第二項ニ依リ保證人二人以上ヲ立テ、身元保證金ノ一部若クハ全部ノ免除ヲ請ハントスルトキハ第七號書式ノ免除願ニ市町村長ノ證明ヲ受ケタル第八號書式ノ保證人資産調査ヲ添へ部局長ニ差出スヘシ

部局長前項ノ願書ヲ受ケタルトキハ保證人ノ資産等ヲ調査シ確實ナルモノト認ムルトキハ之ヲ逓信大臣ニ進達スヘシ

前項ノ免除願ヲ認可シタルトキハ部局長其旨ヲ出納官吏ニ通知シ第九號書式ノ引受證書ヲ徵シ認可書ヲ交付シテ引受證書ハ直チニ逓信大臣ニ進達スヘシ

前項引受證書ヲ差出シタル後保證人資産ヲ失ヒ其資格ヲ失シタルトキハ直チニ更ニ保證人ヲ立ツヘシ

第十五條 出納官吏身元保證金ノ拂戻ヲ請求スルトキハ第十號甲書式ノ拂戻請求書ヲ逓信大臣ニ差出スヘシ但郵便爲替貯金出納官吏ノ身元保證金ハ請求ヲ要セス責任解除ヲ與ヘラレタルトキ之ヲ還付ス

保證人ヲ立テタルモノ引受證書ノ下戻ヲ請求スルトキハ第十號乙書式ノ請求書ヲ逓信大臣ニ差

出スヘシ

出納官吏事故アリテ代理者ヲシテ拂戻ヲ請求セシムルトキハ委任狀ヲ添付スヘシ

出納官吏死亡等ノ爲メ相續人ヨリ拂戻ヲ請求スルトキ及相續人丁年未滿ニシテ後見人記名調印シタルトキハ相續人及後見人タルコトヲ證明シタル市町村長ノ證明書ヲ添付スヘシ

第十六條 遞信大臣前條ノ請求書ヲ受ケタルトキハ保管證書納付濟書書入證書又ハ引受證書ヲ出納官吏ニ還付ス

納付濟證ヲ交付シアルモノハ部局長ニ於テ之ト引換ヘ前項ノ證書ヲ還付スヘシ

土地ノ書入證書ハ部局長登記法第二十三條ノ手續ヲナシ出納官吏ニ還付スルモノトス

但部局長ハ部下ノ官吏又ハ他ノ部局員ヲ指定シテ之ヲ代理セシムコトヲ得

第十七條 遞信大臣ハ會計規則第五條ニ依リ出納官吏ノ身元保證金ヲ以テ損失金ノ辨償ニ充テタルトキハ其旨出納官吏ニ通知ス

會計規則第五條第二項ニ依リ公債證書若クハ土地ヲ公賣シタルトキハ公賣公告入費等ヲ身元保證金ニテ差引徵收シテ其旨出納官吏ニ通知シ尙ホ不足スレハ更ニ徵收ス

第十八條 出納官吏會計規則第八條ノ追納ヲ達セラレタルトキハ三ヶ月以内ニ完納スヘシ

出納官吏増納ヲ達セラレタルトキハ會計規則第九條ノ期限内ニ完納スヘシ

第十八條ノ二 出納官吏身元保證金トシテ金庫ニ保管シアル現金ノ拂戻若クハ其利子金ヲ請求セントスル場合ニ於テハ明治二十六年大藏省令第二十號保管物取扱規程ノ外尙ホ左ノ手續ニ依ルルコトヲ得

一 甲地金庫ヘ預ケ入レタル現金ノ拂戻ヲ乙地金庫ニ於テ受ケントスルトキハ明治二十六年大藏省令第二十號保管物取扱規程第十條ニ依リ取扱應ノ裏書シタル保管證書ニ第十一號書

式ノ請求書ヲ添ヘ甲地金庫ニ差出スヘシ

二 甲地金庫ヘ預ケ入レタル現金ニ對スル利子金ヲ乙地日本銀行本支店又ハ代理店ニ於テ受

取ントスルハ明治廿六年大藏省令第二十號保管物取扱規程第十七條ノ利子請求書ニ(日本銀行若クハ何地同支店代理店ニ就キ現金ノ仕拂相受度候也)ト附記シ甲地金庫ニ差出スヘシ

第十九條 出納官吏身元保證金ニ係ル本省ヨリノ令達通知及出納官吏ヨリ本省ヘ提出スル書類ハ

總テ部局長ヲ經由スルモノトス

第二十條 此規程ニ於テ部局ト稱スルハ本省各局大臣官房財務課電信燈臺用品製造所一等郵便電信局電話交換局郵便爲替貯金管理所航路標識管理所東京郵便電信學校東京商船學校各船舶司檢所ヲ云フ

但二等三等郵便及電信局ハ監督ノ一等局ニ郵便及電信支局電話交換支局郵便爲替貯金管理支所ハ其本局又ハ本所ニ鐵道局所屬ノ地方部局ハ總テ鐵道局ニ分校ハ本校ニ海外郵便及電信局小笠原嶋郵便局ハ通信局ニ屬スルモノトス

附 則

第二十一條 第一條ノ算率ハ追テ改定スルマテハ鐵道局所屬ノ出納官吏ハ元大藏省所管中ニ設定シタル鐵道應出納官吏身元保證金標準ニ其他ノ出納官吏ハ明治二十三年公達第五十五號出納官吏身元保證金算率ニ據ルヘシ

第二十二條 從前三等郵便電信局長及三等郵便局長ヨリ郵便爲替貯金取扱ノ身元保證金トシテ元遞信管理局長及一等郵便電信局長一等郵便局長ニ書入レアル土地又ハ公債證書ハ其書入レテ變

更スルノ必要ヲ生スルマテ其儘三等郵便電信局及郵便局出納官吏ノ身元保證金トノ取扱フヘシ
第二十三條 本規程ハ來ル明治二十七年一月一日ヨリ施行ス

(第一號書式)

出納官吏身元保證金令達報告書

身元保證金 令達年月日	就職年月日	出納官吏名	官姓名	身元保證金 令達額	取扱額	備考
		何々出納官吏	何官 何某			前任者何某又ハ何 某ノ代理又ハ何々

右及報告候也

年月日

部局長名印

遞信大臣宛

備考 郵便爲替貯金出納官吏ノ分ハ別紙ニ調製スヘシ

(第二號甲書式)

身元保證金納付書

一金何程

右何々ヲ取扱フ爲メ身元保證金トシテ何金庫第何號保管證書ヲ以テ相納候也

但服務規約ニ依リ辨償ヲ命セラレタルトキハ本文ノ金員ヲ充用セラル、モ異議無之候(此但三等局ノニ用ユ)

年月日

官 氏 名 印

在職部局名何々出納官吏

又ハ三等局郵便爲替貯金出納官吏

何々局長 何

某 印

三等局出納官吏職下格依之

遞信大臣宛

備考

書式中何々トアルハ(現金ノ收入)又ハ(前渡ヲ受ケタル現金)(歳入歳出外ノ現金)(物品)(印紙類)ト記載シ印ハ實印ヲ押捺スルモノトス以下書式皆同シ會計規則第百八條第百九條ニ據リ身元保證金ヲ増納又ハ補填スルトキハ(増納ノ分)又ハ(補填ノ分)又轉任ノ場合ニ前任納付済ノ保證金額ヲ差引キ差額ノミ納付スルトキハ其旨但書ニシテ其金員ノ左側ニ加フヘシ以下書式皆同シ

(第二號乙書式)

身元保證金納付書(分納ノ例)

一金何程

但第何期分

右何々ヲ取扱フ爲メ身元保證金全額何圓ノ内何金庫第何號保管證書ヲ以テ相納候也

在職部局名何々出納官吏

年月日

官 氏 名 印

遞信大臣宛

(第三號甲書式)

印紙

公債證書納付之證

一何公債證書

此價額金何程

番號 此額面金何程

一何公債證書

此價額金何程

以上價格合計金何程

右拙者記名ノ公債證書ニ有之候處何々ヲ取扱フ爲メ會計規則第百三條ニヨリ出納官吏身元保證金何程ノ代用トシテ納付候條會計規則第五條ニ據リ公賣ニ付セラル、モ拙者ニ於テ聊故障無之爲後證如是候也

但服務規約ニヨリ辨償ヲ命セラレタルトキハ本文ノ擔保品ヲ以テ充用セラル、モ異議無之候(此但書ハ三等局ノミニ用ユ)

在職部局名何々出納官吏

官 氏 名 印

年 月 日

遞信大臣宛

備考 身元保證金ノ一部ニ對シテ代用トシテ納付シタルトキハ書式中身元保證金何圓ノ下ニ(ノ内何圓)ノ字ヲ記入スルモノトス以下書式皆同シ
書式中此價格何圓トアルハ明治二十三年勅令第四號第三條ニ規定スル東京取引所平均相場ニ依リ記載スルモノトス第三號乙書式亦同シ

(第三號乙書式)

印 紙

公債證書納付之證(他人所有ノ公債證書ヲ書入ルハ例)

何某所有

一何公債證書

此價格金何圓也

何某所有

一何公債證書

此價格金何圓也

以上價格合計金何圓也

右ハ何某記名(肩書記名)ノ公債證書ニ有之候處何々ヲ取扱フ爲メ會計規則第百三條但書ニ據リ出納官吏身元保證金何程ノ代用トシテ所有主ノ承諾ヲ得テ納付候條會計規則第百五條ニ據リ公賣ニ付セラル、モ所有主及拙者ニ於テ聊故障無之爲後證如是候也

在職部局名何々出納官吏

官 氏 名 印

年 月 日

右之通相違無之候也

何府縣何市郡何町村何番地

所有主 氏 名 印

何府縣何市郡何町村何番地

所有主 氏 名 印

遞信大臣宛

(第四號書式)

登記請求書

一何地何坪

何府縣何都市町村何番地
此土地登記簿登記價格金何程

一何地何坪
合計 何坪

何々々

土地臺帳登記價格合計金何程

右ハ拙者身元保證金何程ニ代用納付ノ爲メ何年何月何日登記所ニ於テ登記相受度候也

在職部局名何々出納官吏

年月日

官 氏 名 印

遞信大臣宛

備考

同一府縣ニアラサル土地ヲ合併シテ代用納付セントスルトキハ書式中身元保證金ノ下

(第五號甲書式)

ニ(ノ内金何圓)ノ字ヲ記入シ各別ニ請求書ヲ調製シ同時ニ差出スモノトス

印 紙

土地書入之證

一何地何坪

何府縣何郡市町村何番地

此土地臺帳登記價格金何程

何々々

一何地何坪

土地臺帳登記價格合計金何程

何々々

右ハ拙者所有ノ土地ニ有之候處何々ヲ取扱フ爲メ會計規則第三百三條ニヨリ出納官吏身元保證金何程ノ代用トシテ書入候條會計規則第五百五條ニヨリ公賣ニ付セラル、モ聊カ故障無之候爲後證如斯候也

但服務規約ニヨリ辨償ヲ命セラレタルトキハ本文ノ擔保品ヲ以テ充用セラル、モ異議無之

候(此但書ハ三等局ノミニ用ユ)

在職部局名何々出納官吏

官 氏 名 印

年月日

遞信大臣宛

備考

身元保證金ノ一部ニ對シテ代用トシテ書入レタルトキハ書式中身元保證金何圓ノ下ニ

(第五號乙書式)

(ノ内何圓)ノ字ヲ記入スルモノトス

印 紙

土地書入之證

(他人所有ノ土地ヲ書入ルノ例)

何某所有

一何地何坪

何府縣何郡市町村何番地

此土地臺帳登記價格金何程

何々々

一何地何坪

土地臺帳登記價格合計金何程

何々々

合計 何坪

右ハ何某所有(肩書記名者所有)ノ土地ニ有之候處何々ヲ取扱フ爲メ會計規則第三百三條ニヨリ出納官吏身元保證金何程ノ代用トシテ所有主ノ承諾ヲ得テ書入候條會計規則第五百五條ニヨリ公賣ニ付セラル、モ所有主及拙者ニ於テ聊故障無之爲後證如是候也

但服務規約ニヨリ辨償ヲ命セラレタルトキハ本文擔保品ヲ以テ充用セラル、モ異議無之候

(此但書ハ三等局ノミニ用ユ)

年月日
右之通相違無之候也

遞信大臣宛

在職局名何々出納官吏

官 氏 名 印

何府縣何市郡何町村何番地

所有主 氏 名 印

何々々

所有主 氏 名 印

(第六號甲書式)

身元保證金納付濟證

第「何」號

者付納

「官 氏 名」

一金「何圓也」

主任官
認印

但何々

右ハ何々ヲ取扱フ爲メ身元保證金全額納付濟ノ證トシテ之ヲ付與ス
年 月 日
逓信大臣 氏 名 印
逓信省通信局長氏名印(爲替貯金ノ分ニ限ル)

割 印

(第六號乙書式)

身元保證金假納付濟證

第「何」號

者付納

「官 氏 名」

一金「何圓也」

主任官
認印

但何々

右ハ何々ヲ取扱フ爲メ身元保證金ノ内第「何」期分納ノ證トシテ之ヲ付與ス
年 月 日
逓信大臣 氏 名 印

臺帳登記ヲ了ス

逓信省通信局長氏名印(爲替貯金ノ分ニ限ル)

又ハ

逓信大臣官房財務課長

逓信書記官 氏 名 印

割 印